

第3章 本市における自転車を取り巻く現状と課題

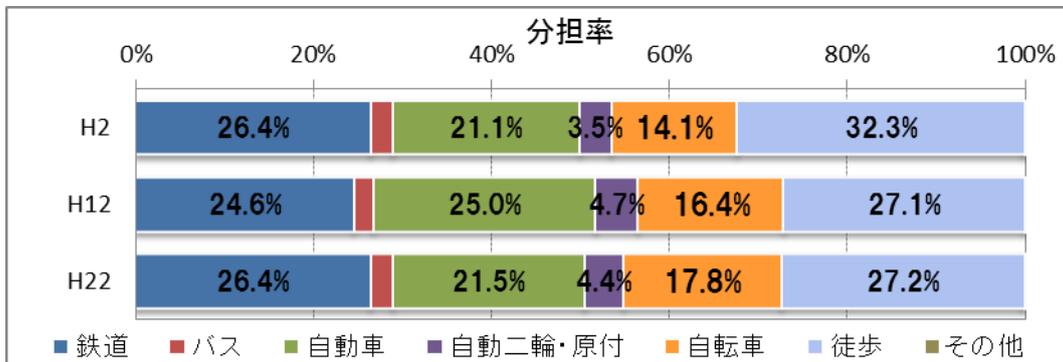
1 自転車利用の現状

(1) 自転車の利用状況

◆自転車の分担率

○自転車の代表交通手段としての分担率は17.8%であり、H2、H12と増加傾向にあります。
 ○大阪府平均の22.5%を下回っており、府内43市町村中24位となっていますが、国勢調査による通勤・通学における自転車利用の分担率をみると、全国でも上位（人口10万人以上の268都市中で39位）に位置しており、自転車利用が多い都市と言えます。
 ○鉄道利用における末端交通手段としての自転車分担率を見ると、平地に位置するJR吹田、JR岸辺、阪急正雀が20%を超えており、高くなっています。

パーソントリップ調査による代表交通手段分担率



府内市町村の代表交通手段における自転車分担率の比較

代表交通手段、平日、全目的、発生集中：H22 パーソントリップ調査

順位	市町村	自転車分担率	順位	市町村	自転車分担率	順位	市町村	自転車分担率
1	松原市	33.3%	16	高槻市	22.8%	31	富田林市	14.5%
2	守口市	32.6%	17	堺市	22.2%	32	和泉市	13.3%
3	門真市	32.5%	18	岸和田市	21.1%	33	大阪狭山市	13.0%
4	八尾市	31.4%	19	柏原市	20.2%	34	泉南市	12.8%
5	高石市	30.4%	20	島本町	20.1%	35	阪南市	12.4%
6	東大阪市	30.0%	21	豊中市	19.3%	36	岬町	9.8%
7	藤井寺市	29.4%	22	四條畷市	18.3%	37	熊取町	9.6%
8	摂津市	27.0%	23	羽曳野市	18.1%	38	河内長野市	7.7%
9	大東市	27.0%	24	吹田市	17.8%	39	河南町	6.5%
10	泉大津市	26.8%	25	交野市	17.2%	40	太子町	4.8%
11	茨木市	26.0%	26	枚方市	17.1%	41	能勢町	2.3%
12	寝屋川市	25.6%	27	泉佐野市	16.9%	42	豊能町	1.7%
13	忠岡町	25.0%	28	貝塚市	16.7%	43	千早赤阪村	0.3%
14	大阪市	23.4%	29	池田市	16.3%		大阪府 平均	22.5%
15	田尻町	23.1%	30	箕面市	15.4%			

全国の人口 10 万人以上の都市の通勤・通学における自転車分担率（H22 国勢調査）

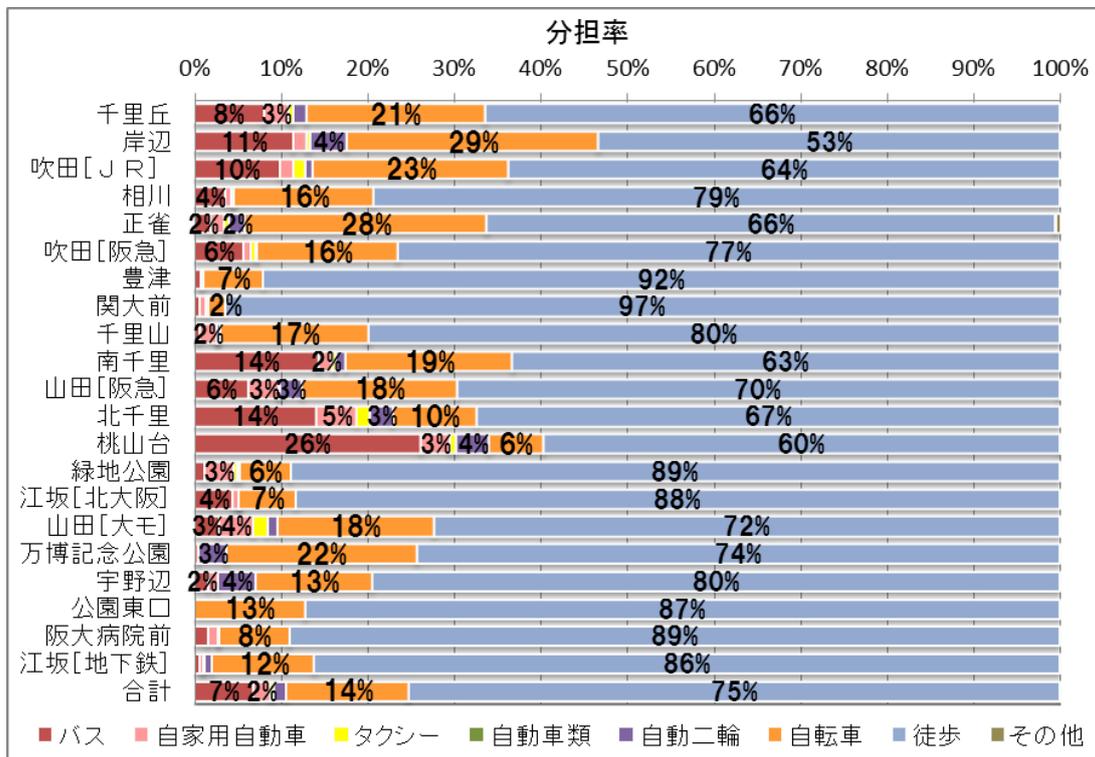
268 都市中上位 50 都市を掲載

順位	市町村名	都道府県	自転車 (代表交通手段)	鉄道・電車 及び自転車 (端末交通手段)	自転車 (代表交通手段+端末交通手段)	順位	市町村名	都道府県	自転車 (代表交通手段)	鉄道・電車 及び自転車 (端末交通手段)	自転車 (代表交通手段+端末交通手段)
			①	②	①+②				①	②	①+②
1	門真市	大阪府	34.2%	6.6%	40.9%	26	昭島市	東京都	18.8%	7.2%	26.0%
2	守口市	大阪府	32.4%	8.3%	40.7%	27	松山市	愛媛県	24.6%	1.2%	25.8%
3	東大阪市	大阪府	30.6%	5.7%	36.2%	28	川口市	埼玉県	18.0%	7.8%	25.8%
4	尼崎市	兵庫県	28.6%	7.4%	35.9%	29	小金井市	東京都	16.9%	8.5%	25.5%
5	八尾市	大阪府	29.4%	6.5%	35.9%	30	三郷市	埼玉県	16.7%	8.2%	24.9%
6	松原市	大阪府	28.1%	6.9%	35.0%	31	高知市	高知県	24.1%	0.8%	24.9%
7	大東市	大阪府	28.5%	6.4%	34.9%	32	武蔵野市	東京都	15.5%	9.0%	24.5%
8	伊丹市	大阪府	27.8%	5.9%	33.6%	33	越谷市	埼玉県	15.8%	8.6%	24.4%
9	伊丹市	兵庫県	26.9%	5.8%	32.7%	34	堺市	大阪府	18.3%	6.0%	24.3%
10	寝屋川市	大阪府	23.6%	8.1%	31.7%	35	徳島市	徳島県	23.8%	0.4%	24.2%
11	戸田市	埼玉県	21.7%	8.8%	30.6%	36	岸和田市	大阪府	18.4%	5.8%	24.2%
12	茨木市	大阪府	21.2%	8.6%	29.8%	37	羽曳野市	大阪府	18.2%	5.7%	23.9%
13	草加市	埼玉県	20.8%	9.0%	29.8%	38	浦安市	千葉県	13.7%	10.2%	23.9%
14	三鷹市	東京都	19.5%	9.9%	29.5%	39	吹田市	大阪府	17.2%	6.3%	23.5%
15	小平市	東京都	20.1%	9.3%	29.3%	40	ふじみ野市	埼玉県	15.1%	8.2%	23.4%
16	高槻市	大阪府	19.7%	9.1%	28.8%	41	さいたま市	埼玉県	15.8%	7.4%	23.2%
17	立川市	東京都	19.9%	8.4%	28.3%	42	加古川市	兵庫県	17.2%	5.9%	23.1%
18	東久留米市	東京都	20.1%	7.6%	27.6%	43	岡山市	岡山県	20.8%	2.1%	23.0%
19	東村山市	東京都	17.9%	9.2%	27.0%	44	草津市	滋賀県	18.7%	4.3%	23.0%
20	上尾市	埼玉県	17.9%	9.0%	26.8%	45	静岡市	静岡県	20.7%	1.9%	22.5%
21	京都市	京都府	23.4%	3.2%	26.6%	46	西宮市	兵庫県	16.6%	5.7%	22.4%
22	府中市	東京都	19.2%	7.0%	26.2%	47	豊中市	大阪府	17.4%	4.9%	22.3%
23	茅ヶ崎市	神奈川県	18.1%	7.9%	26.1%	48	平塚市	神奈川県	18.4%	3.4%	21.7%
24	新座市	埼玉県	17.9%	8.2%	26.1%	49	高松市	香川県	19.7%	2.0%	21.7%
25	西東京市	東京都	17.6%	8.4%	26.0%	50	国分寺市	東京都	14.6%	7.1%	21.7%

※黄色ハッチは大阪府内の都市

吹田市内及び周辺の駅別端末交通手段分担率の比較

平日、乗降計：H22 パーソントリップ調査



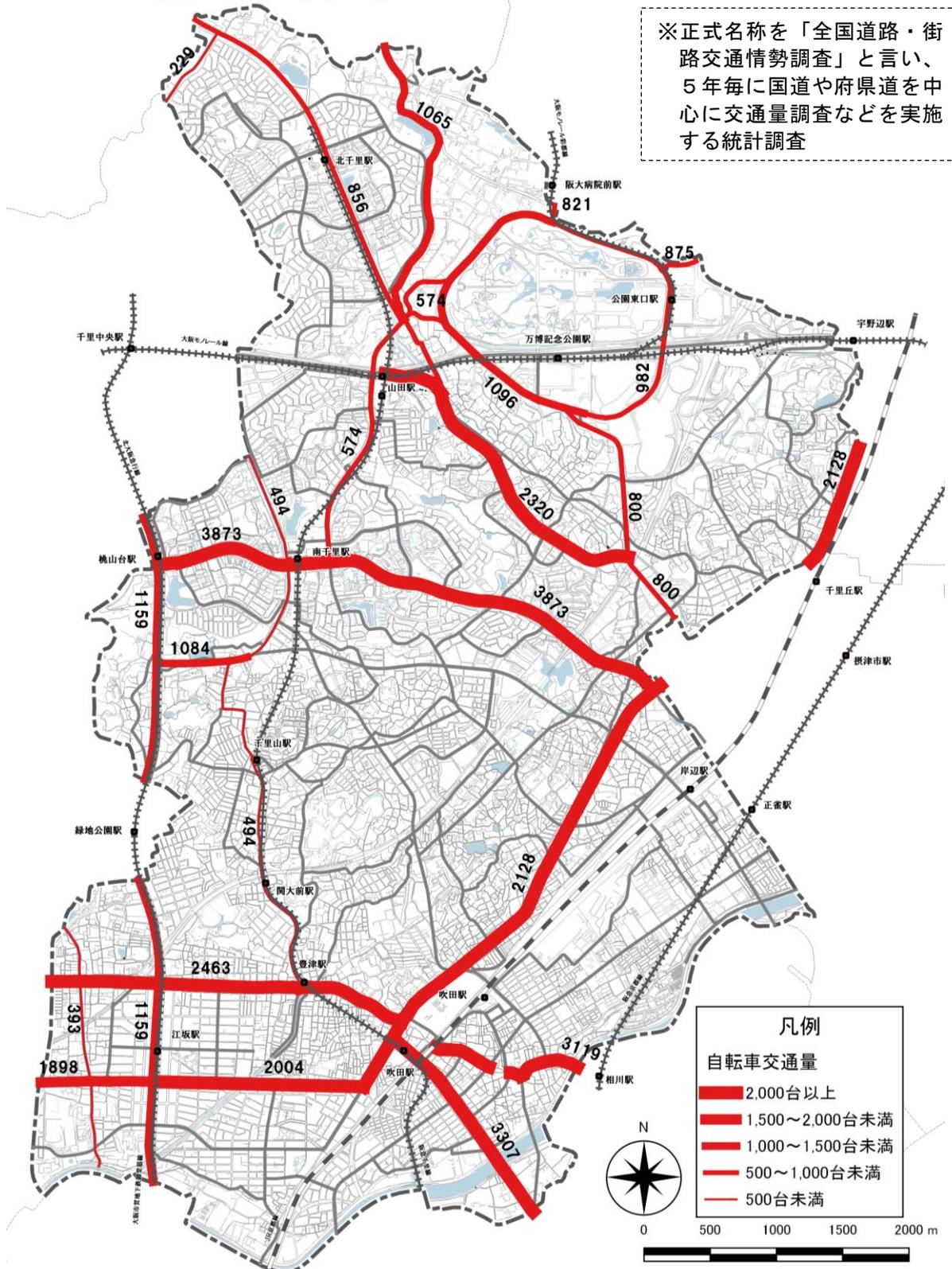
(2) 自転車の交通量

【自転車交通量】（道路交通センサス調査路線のみ）

○最も交通量が多いのは、府道豊中摂津線で約4千台/12hとなっています。

○他に交通量が多い（2千台/12hを超えている）のは、国道479号、府道大阪高槻京都線、府道豊中吹田線、府道大阪中央環状線です。

< 自転車の交通量（H22 道路交通センサス※） >



(3) アンケートからみた利用状況

<アンケートの実施概要>

■実施日

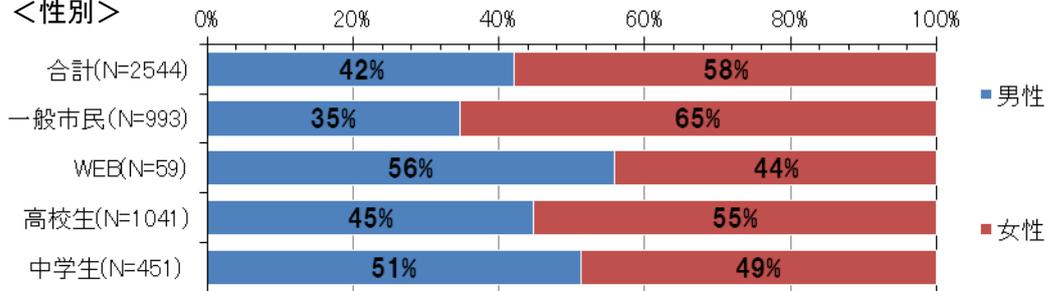
平成28年1月13日～29日（WEBアンケートは1月18日～29日）

■回収サンプル数

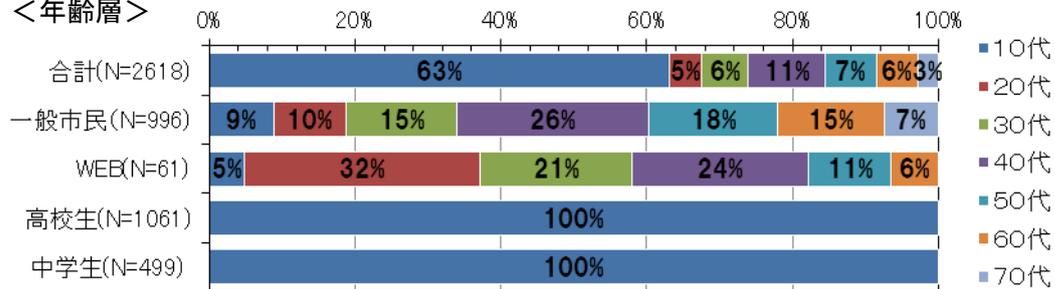
	配布数	回収数	回収率
市民アンケート （市営自転車駐車場で配布）	4000枚	1005枚	25.1%
高校生アンケート （市内3高校の2年生対象）	1180枚	1061枚	89.9%
中学生アンケート （市内3中学の2年生対象）	600枚	499枚	83.2%
WEBアンケート （市ホームページで実施）	—	62枚	—
計	5780枚	2627枚	45.4%

■属性の状況

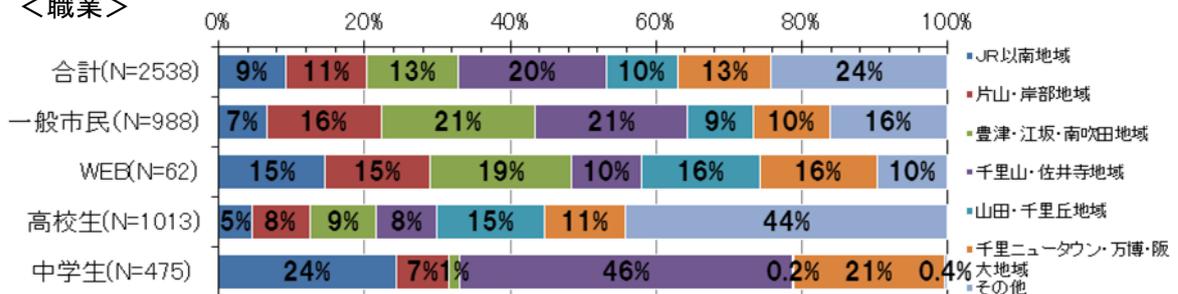
<性別>



<年齢層>



<職業>



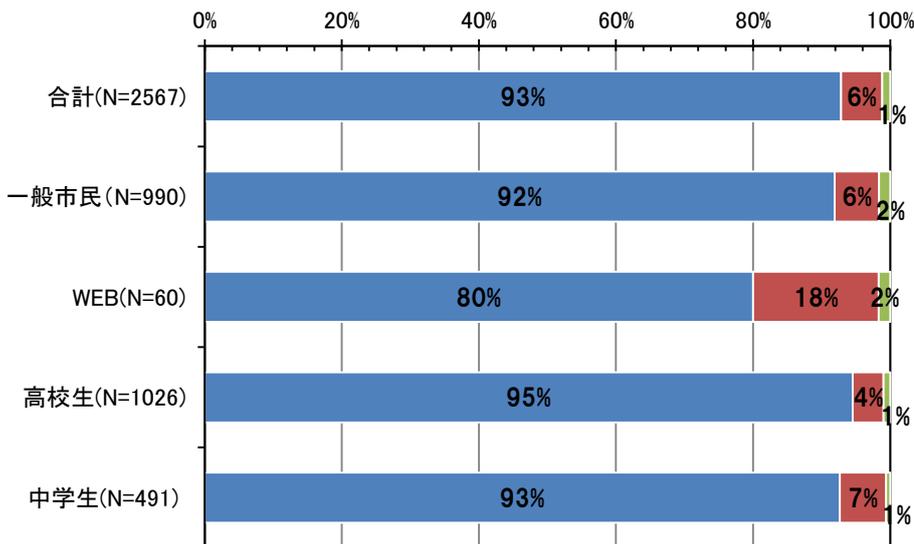
【自転車の保有状況】

○90%以上の方が自分専用の自転車を持っています。

○利用している自転車の種類は、「普通の自転車」が最も多く63%、次いで「電動アシスト自転車」が28%となっています。坂が多い地形のため、電動アシスト自転車の割合が高いのが特徴です。

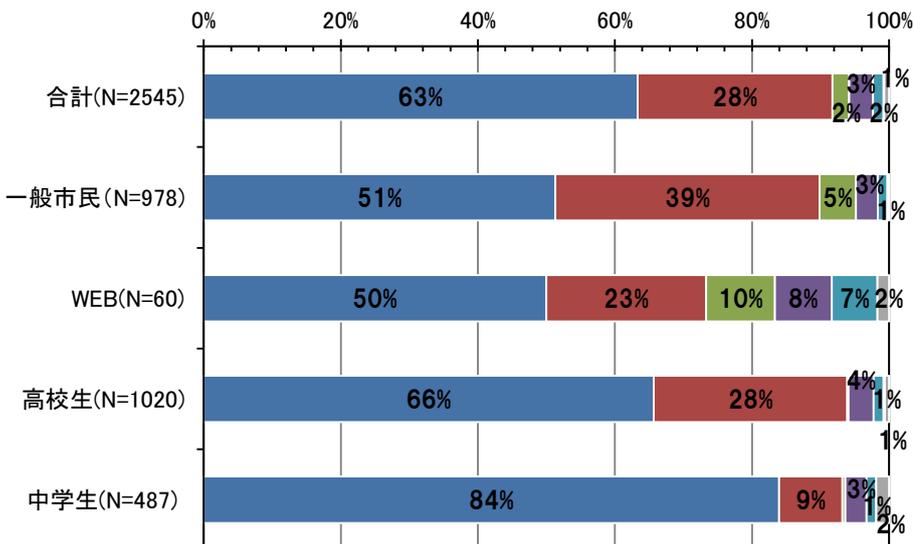
Q あなたは自転車を持っていますか。(1つだけ○) [N=2,567]

■ 自分専用の自転車を持っている。 ■ 家族等で自転車を共有している。 ■ 自転車を持っていない。



Q あなたが利用している自転車はどのような種類ですか。(主なもの1つだけ○) [N=2,545]

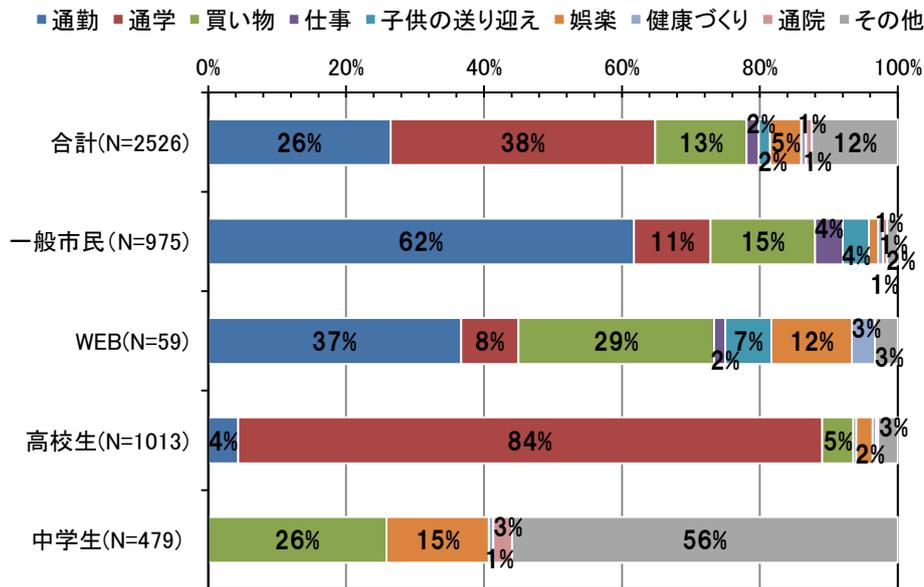
■ 普通の自転車 ■ 電動アシスト自転車 ■ 子供乗せ自転車 ■ スポーツバイク
 ■ 折りたたみ自転車 ■ レンタサイクル ■ その他



【目的】

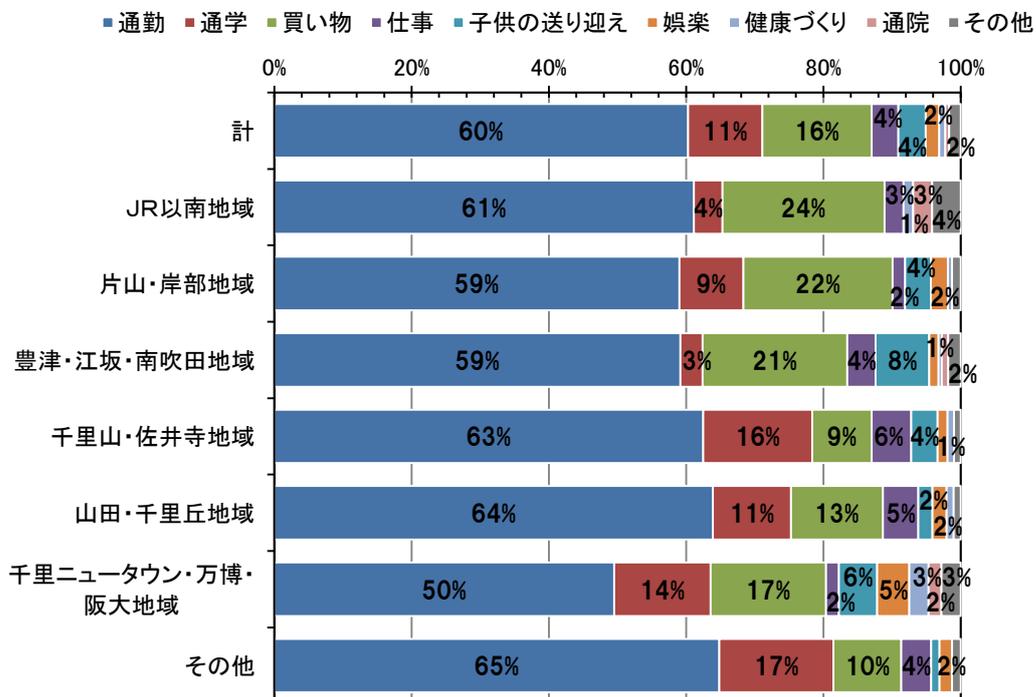
○回答者に高校生が多いため「通学」が38%を占めており、次いで「通勤」が26%を占めています。ただし、一般市民のアンケートでは、「通勤」が62%と突出して高くなっています。
 ○一般市民のアンケートで見ると、ほとんどの地域で「通勤」が60%前後であるのに対し、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」だけが「通勤」が50%と低くなっています。その分、他の地域よりも「通学」「子どもの送り迎え」「娯楽」が多くなっています。

Q 自転車をもっとよく利用する目的は何ですか。(1つだけ) [N=2,526]



Q 「目的」 × 「地域」

※集計：一般市民のみ



【利用頻度】

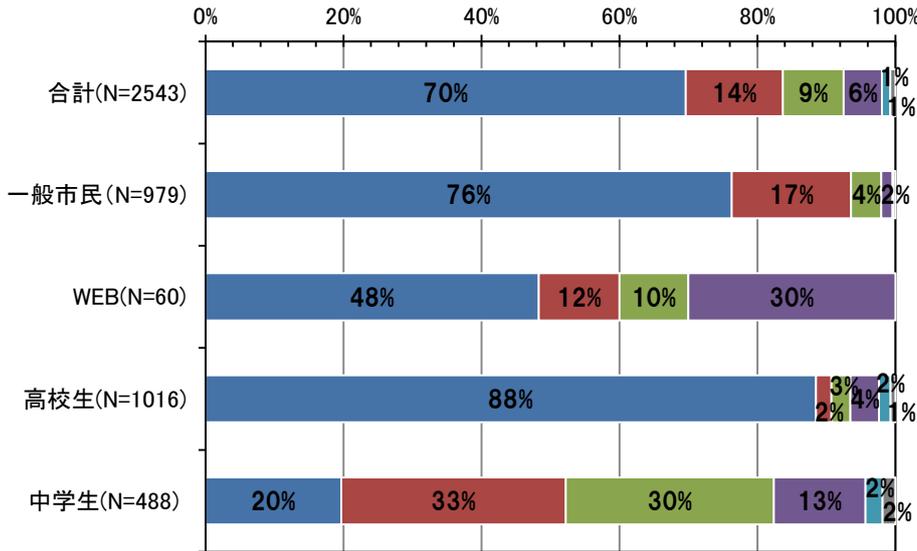
○一般市民のアンケートで見ると、「ほぼ毎日」が76%を占めており、「週に3～4日」までを含めると93%となり、利用頻度は非常に高くなっています。

○一般市民のアンケートで見ると、ほとんどの地域で「通勤」が70%を超えています。が、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」「山田・千里丘地域」は70%を下回っており、やや利用頻度が低くなっています。

Q あなたは普段どれぐらいの頻度で自転車を利用していますか。(1つだけ○)

[N=2,543]

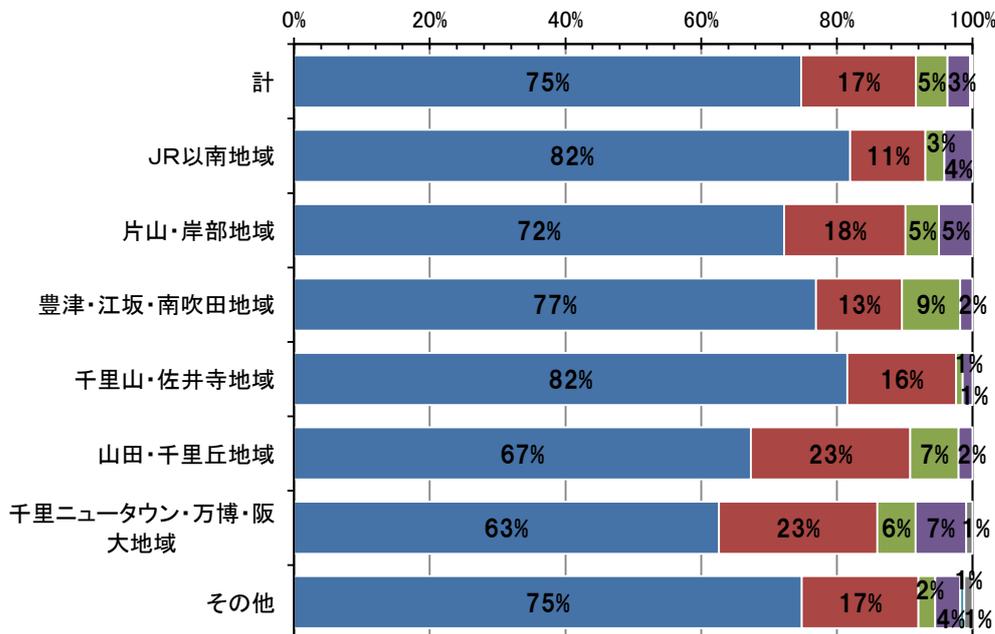
■ほぼ毎日 ■1週間に3～4日 ■1週間に1から2日 ■1ヶ月に数回 ■利用しない ■その他



Q 「頻度」×「地域」

※集計：一般市民のみ

■ほぼ毎日 ■1週間に3～4日 ■1週間に1から2日 ■1ヶ月に数回 ■利用しない ■その他

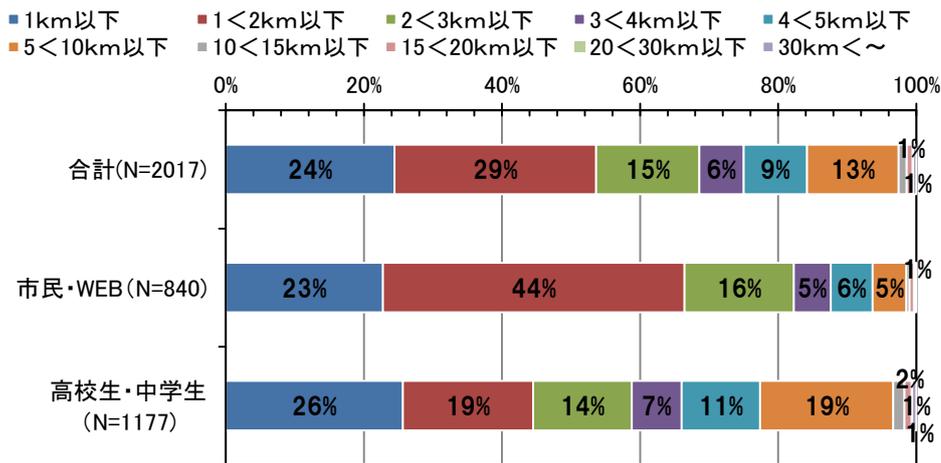


【移動距離】

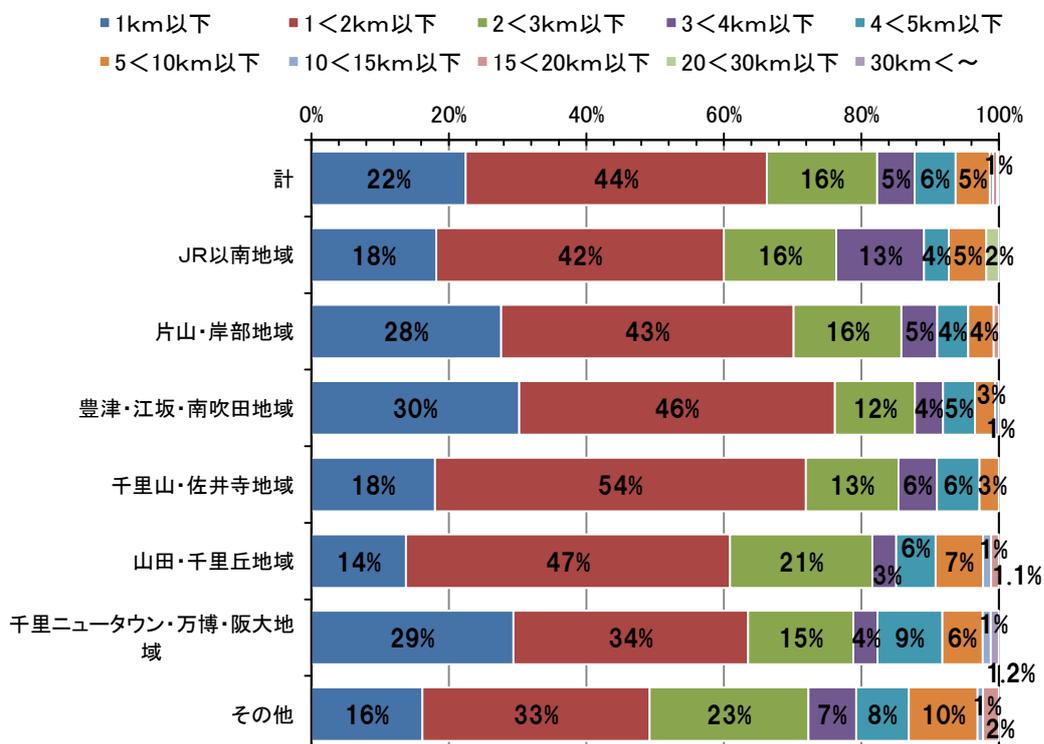
○全体では「2km以下」の移動で53%と半分以上を占めており、「5km以下」で83%に達しています。最も多いのは「1～2km以下」で29%となっています。一般市民のアンケートで見ると、「2km以下」の移動で66%となり、近距離利用の割合がより高くなっています。

○一般市民のアンケートで見ると、「豊津・江坂・南吹田」地域が「2km以下」の移動で76%と最も近距離利用の割合が高く、逆に低いのは「JR以南地域」「山田・千里丘地域」「千里ニュータウン・万博・阪大地域」で約60%となっています。

Q 自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている距離は片道どれくらいですか。[N=2,017]



Q 「距離」×「地域」 ※一般市民集計 ※集計：一般市民

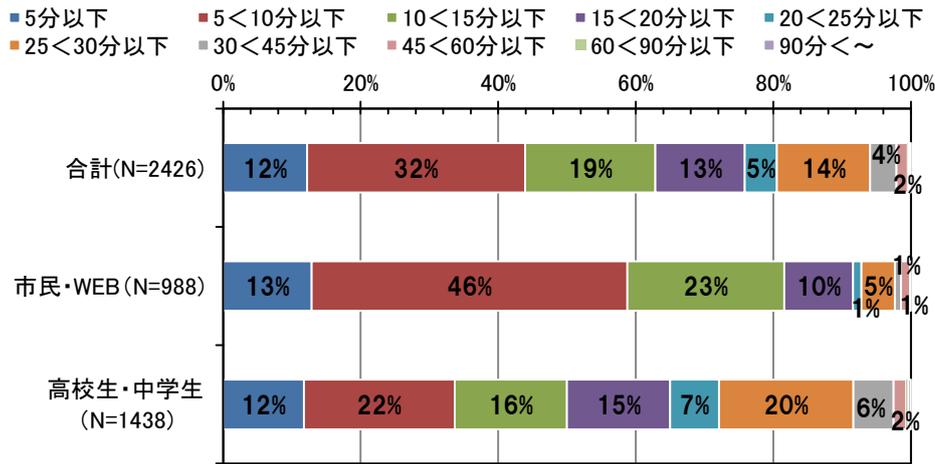


【移動時間】

○全体では「10分以下」の移動で44%と半分近くを占めており、「30分以内」で94%に達しています。最も多いのは「5～10分以下」で32%となっています。一般市民のアンケートで見ると、「10分以下」の移動で59%となり、近距離利用の割合がより高くなっています。

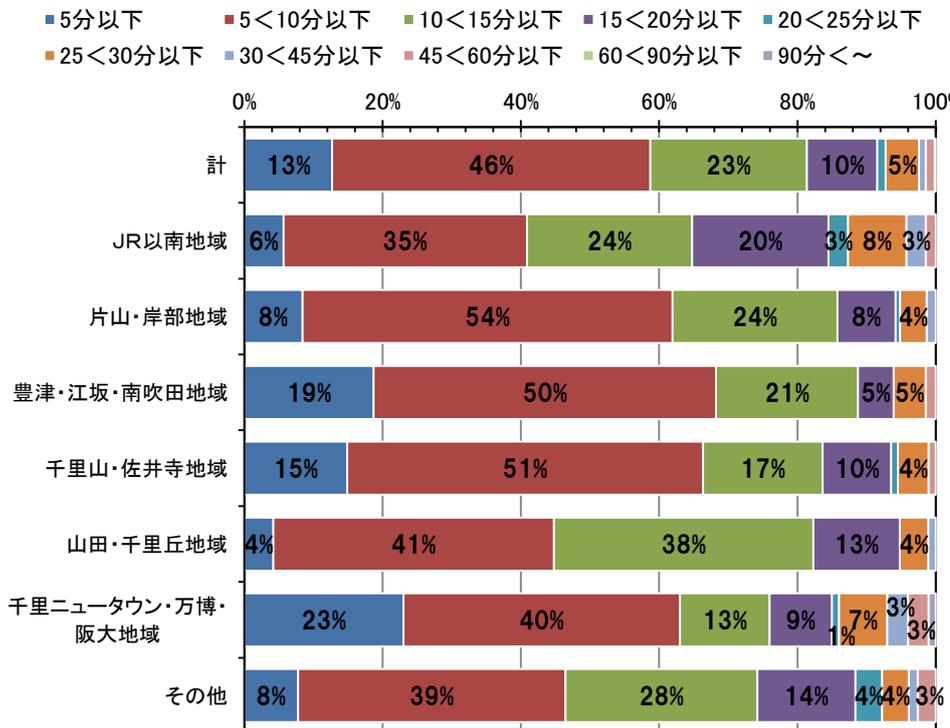
○一般市民のアンケートで見ると、「豊津・江坂・南吹田」地域が「10分以下」の移動で約70%と最も近距離利用の割合が高く、逆に低いのは「JR以南地域」「山田・千里丘地域」で約40%となっています。

Q 自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている時間は片道どれくらいですか。[N=2,017]



Q 「時間」×「地域」

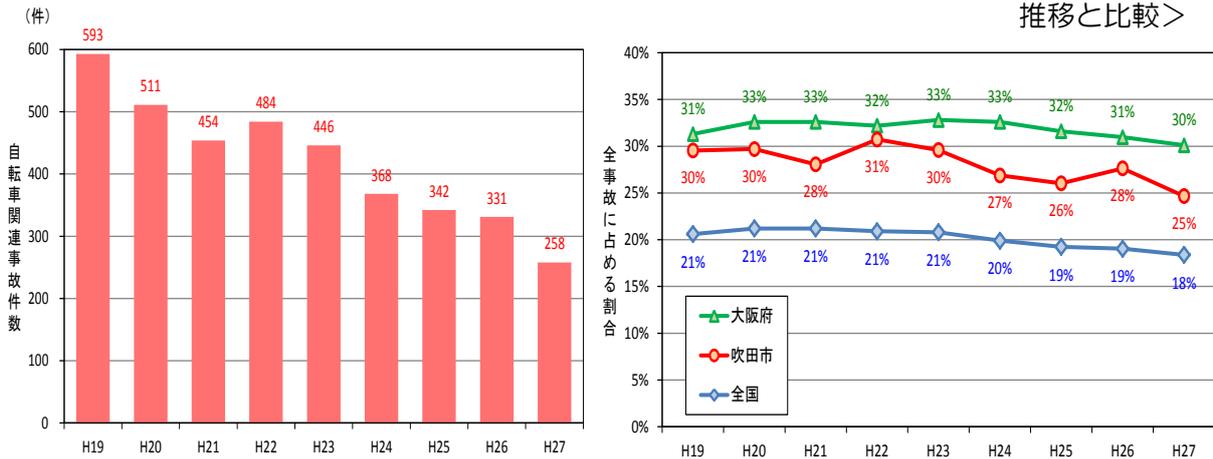
※集計：一般市民のみ



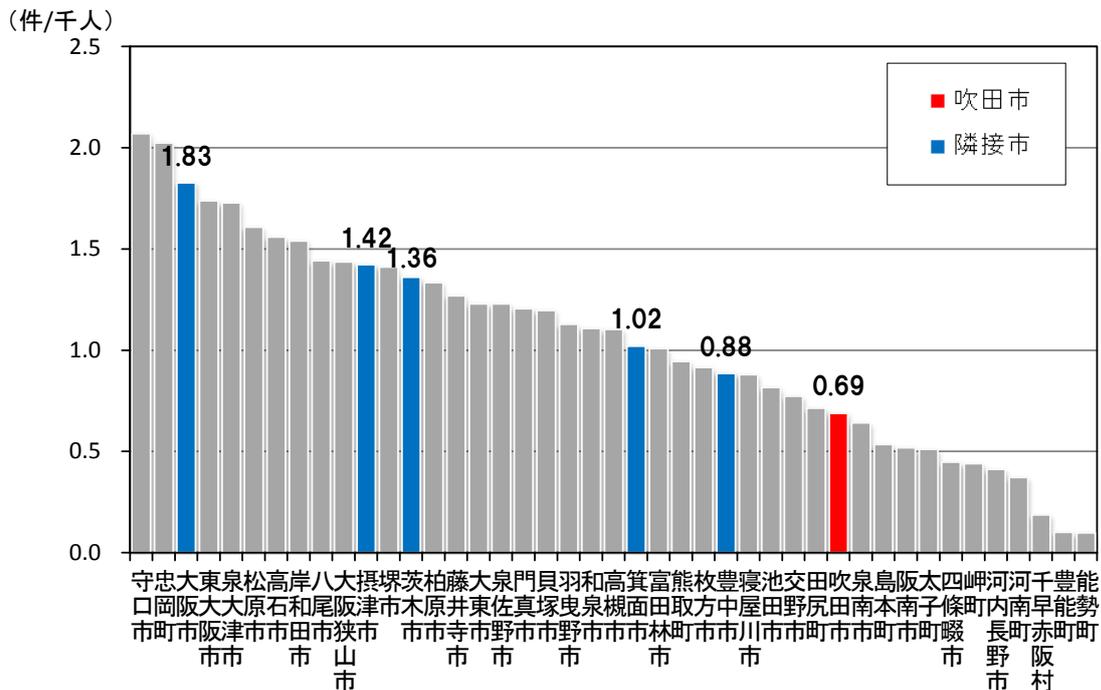
2 自転車関連事故の状況

- 自転車関連事故は平成27年に258件発生しており、平成19年から半分以上に減少しています。
- 全交通事故に占める割合は25%となっており、全国の18%と大阪府の30%の概ね中間となっています。また、平成19年の30%から5%減少しており、近年、微減傾向にあります。
- 大阪府下の市町村と比べると、人口千人あたりの自転車関連事故件数は少ない方です。
- 平成27年の自転車関連事故の発生位置を見ると、その多くは幹線道路上で発生しています。
- 江坂駅周辺やJR吹田駅南側、国道479号で事故が多く発生しています。

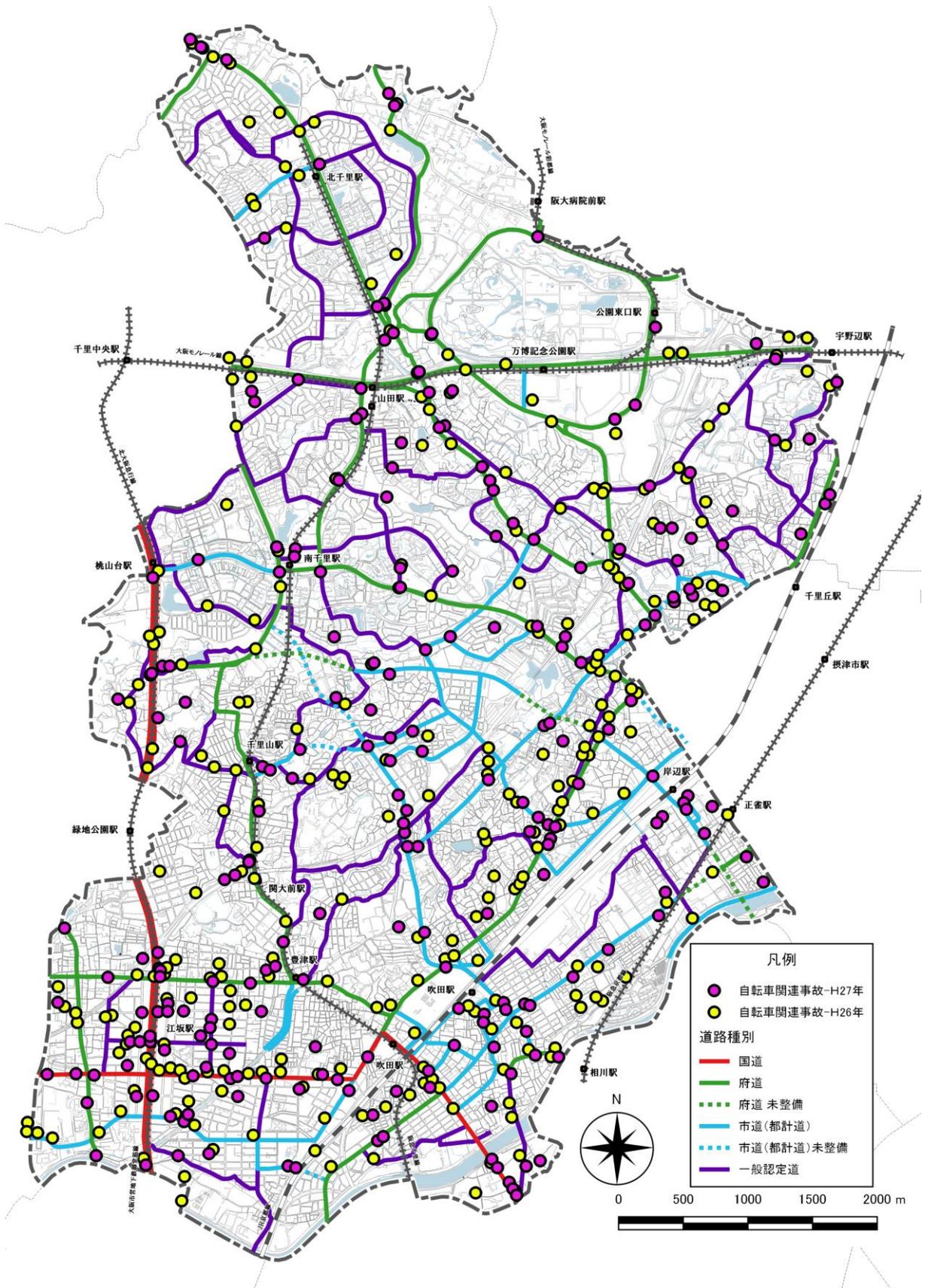
＜吹田市における自転車関連事故件数の推移＞ ＜全事故に占める自転車関連事故の割合の推移と比較＞



＜大阪府市町村における人口千人あたりの自転車関連事故件数の比較（H27）＞



< 自転車関連事故発生位置図 (H26、H27の2年間) >



出典：大阪府警察HPの事故発生マップから地図上に転写

3 自転車に関する取組みの現状

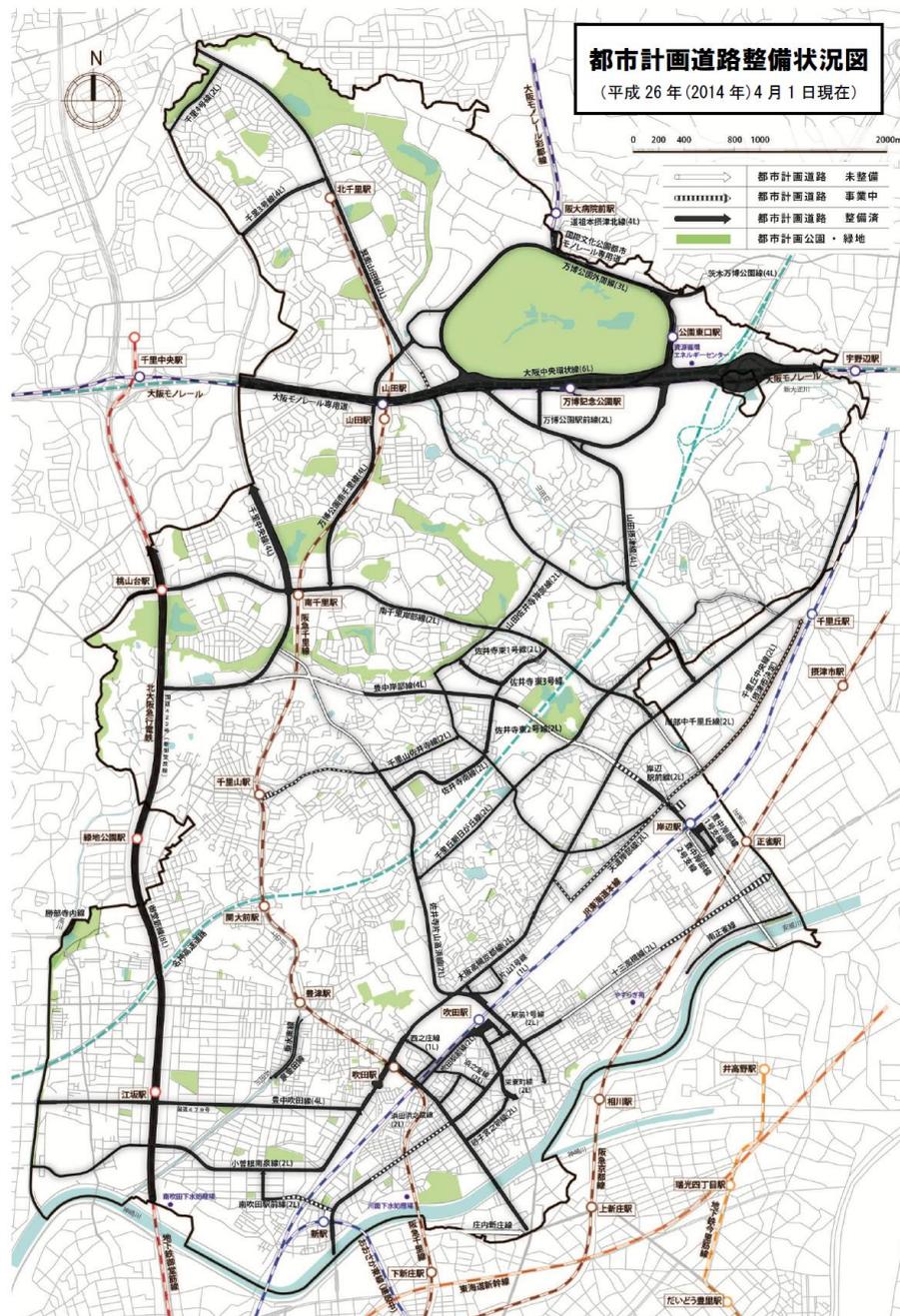
(1)「はしる」

道路の整備状況

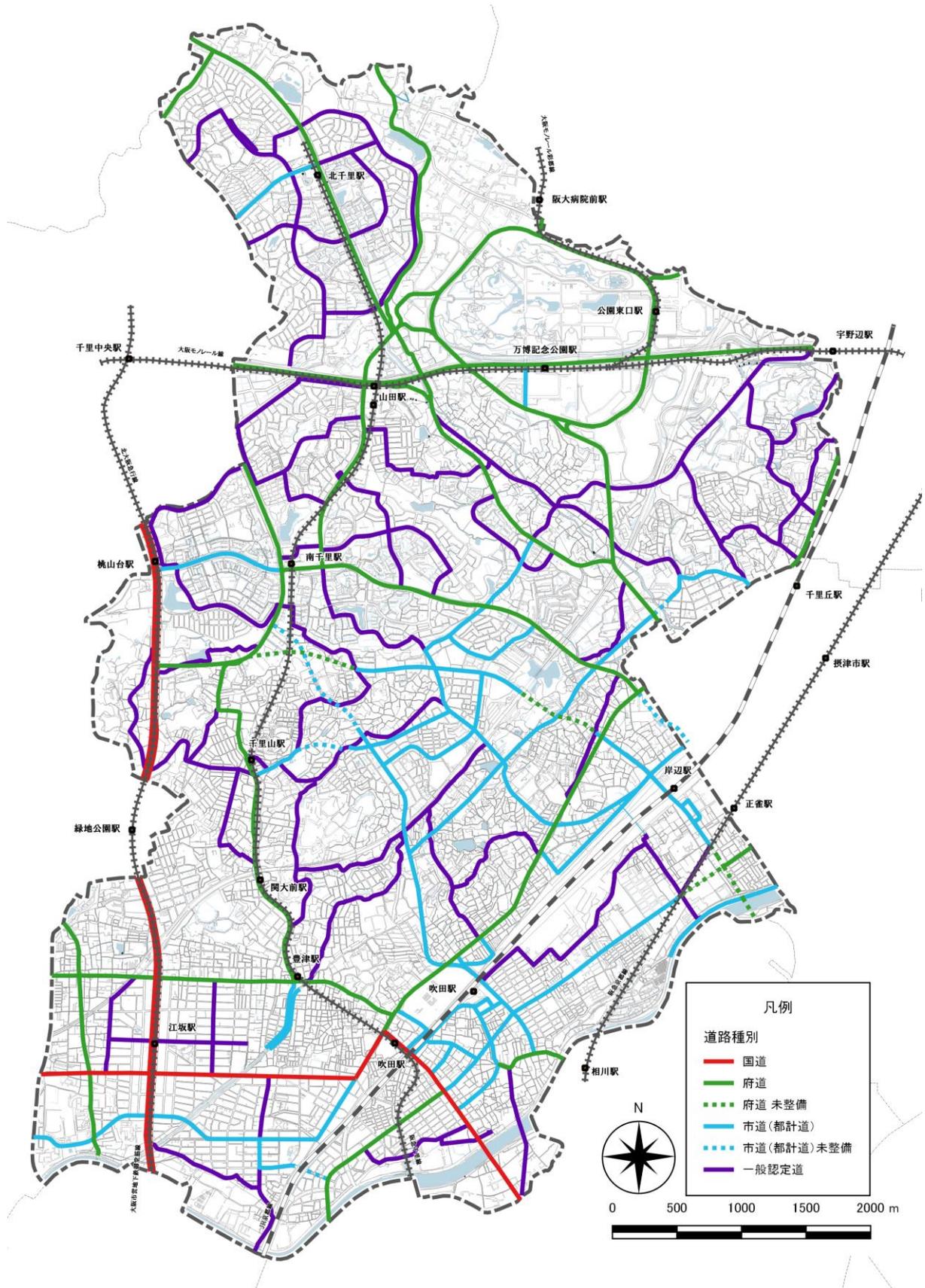
◆道路の整備及びネットワーク状況

- 都市計画道路の整備状況としては、幹線街路36路線、区画街路1路線、特殊街路（歩行者専用道、モノレール専用道）6路線を都市計画決定しており、平成25年12月末現在の整備進捗率は、幹線街路が約86%、区画街路・特殊街路は100%となっています。
- 幹線道路のネットワークは、市の南端及び西端付近を国道が通り、比較的広域なエリアを府道が結び、市道（都市計画道路と一般認定道路）が市内を網羅的に結んでいます。
- 路肩等の車道側方に余裕がある道路は少ない状況です。

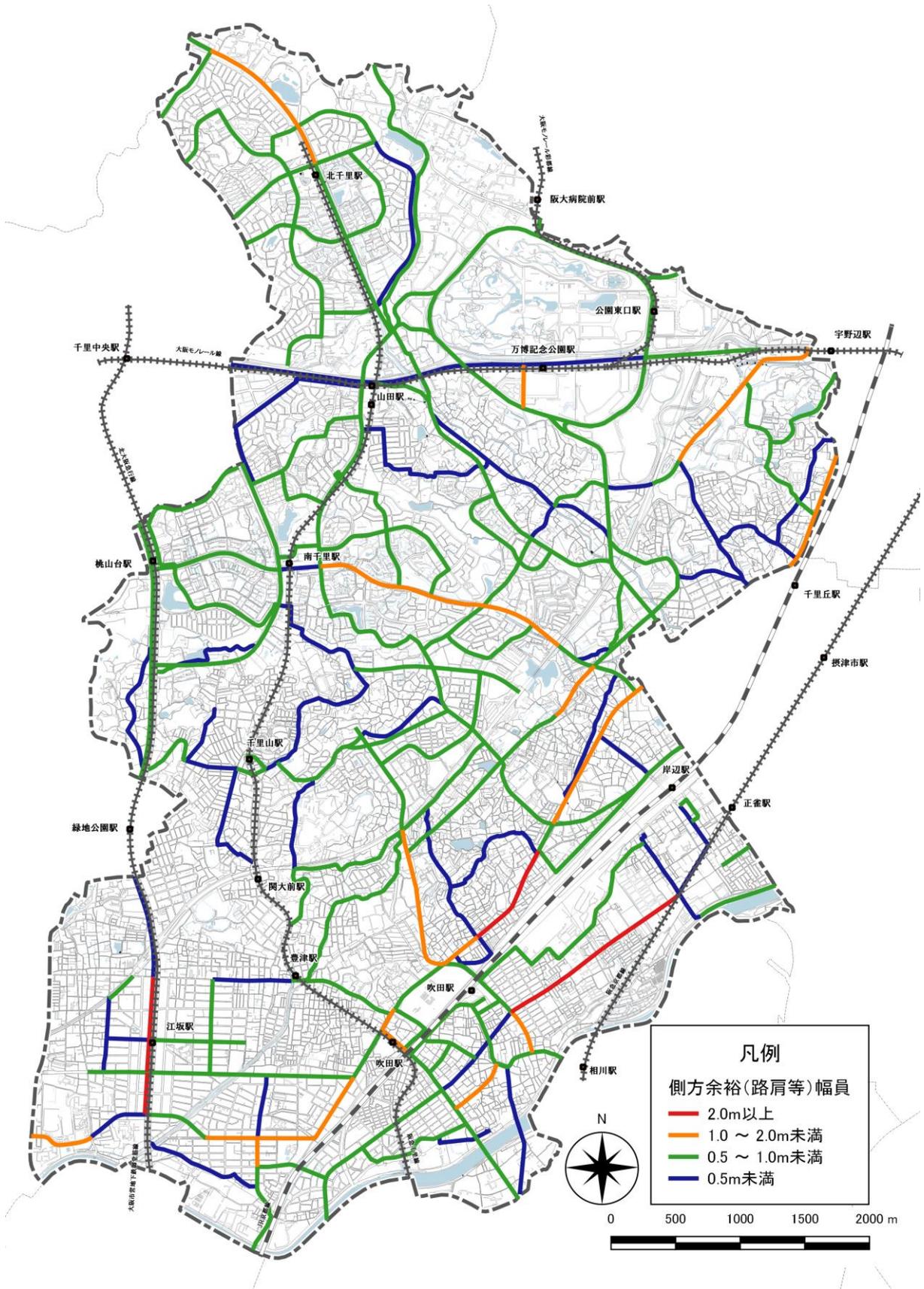
<都市計画道路整備状況図>



<幹線道路ネットワーク図>



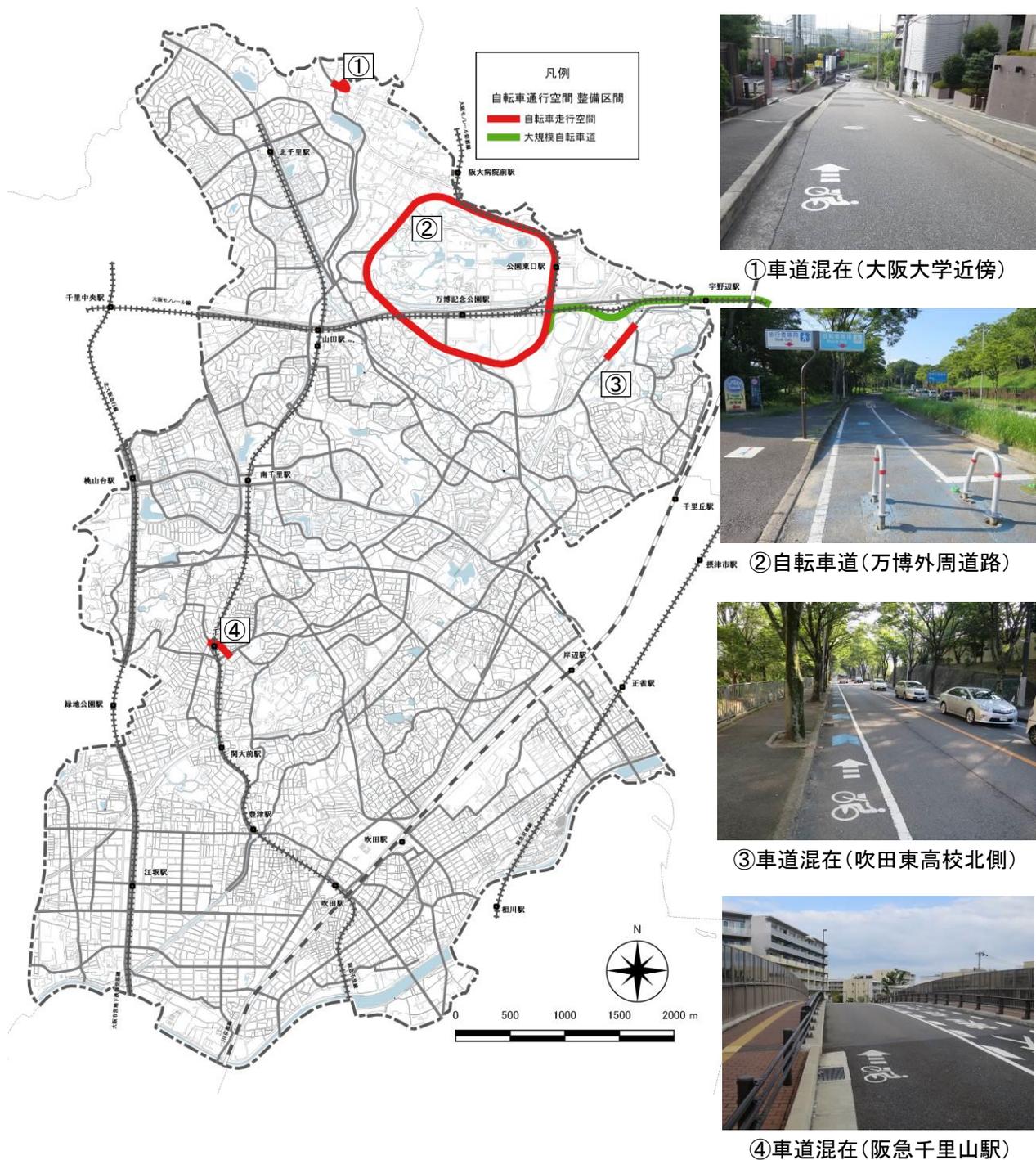
< 車道左側の状況（側方余裕） >



自転車通行空間の整備状況

◆自転車通行空間の整備状況

- 万博公園の外周道路において、大阪府により歩行者・自動車と構造分離された自転車道が整備されています。（ただし、道路交通法上の自転車道の規制は無し）
- 吹田東高校前において、車道混在（矢羽根+矢印+自転車マーク）を整備しており、千里山駅の跨線橋と大阪大学の近くでも、車道左側に矢印+自転車マークを設置した車道混在を整備しています。
- 大阪中央環状線の宇野辺駅から万博公園までの区間が、大規模自転車道「北大阪サイクリン」の一部に含まれています。



(2)「まもる」

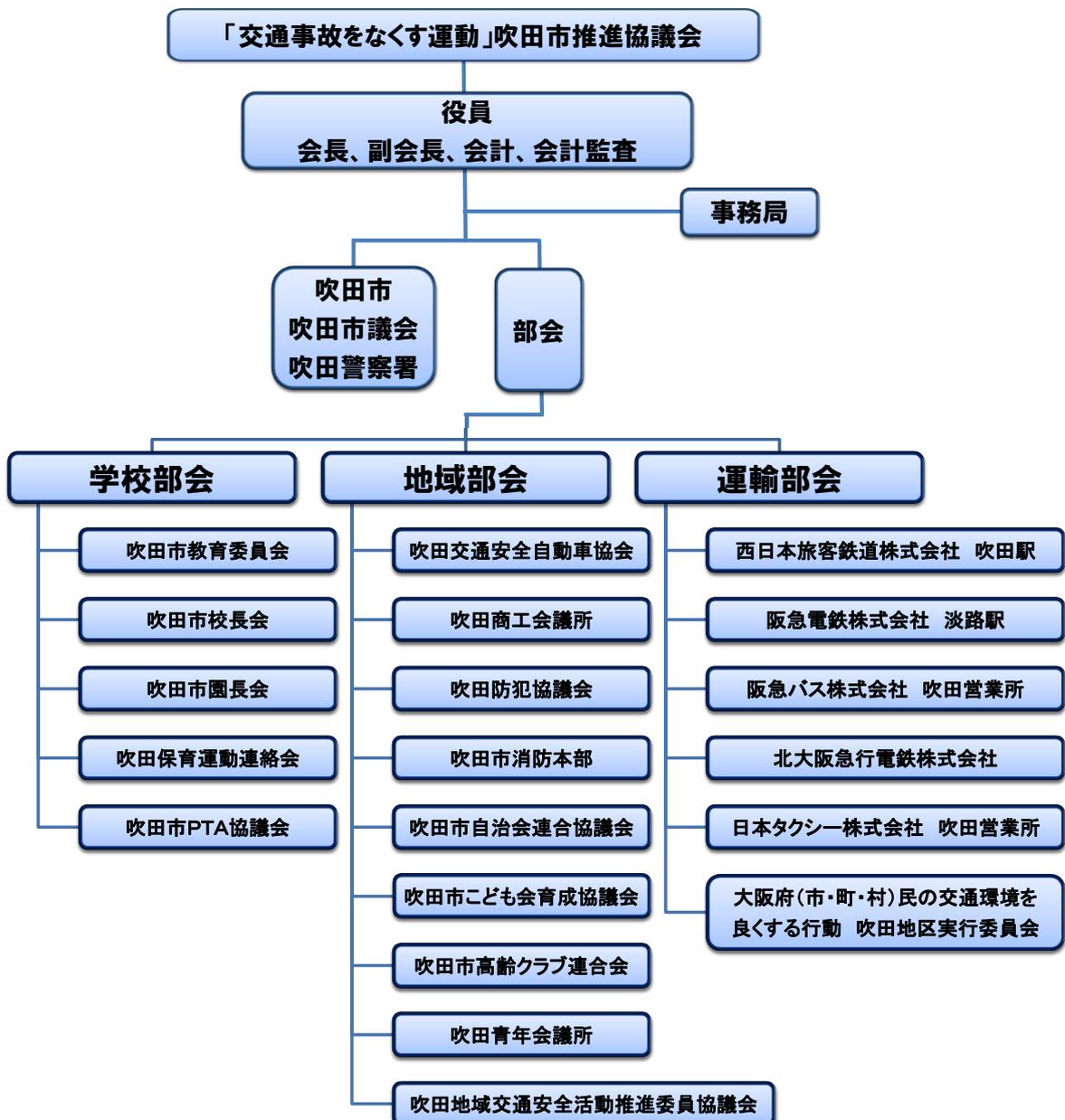
啓発・教育等の取組み状況

◆ルール・マナー・モラルの向上

○「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会による事業として、自転車のルールの遵守・マナーの向上のため、安全教育・啓発活動について平成28年度の実績としては次頁以降に示すような取組みを実施しています。

「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会は、学校部会、地域部会、運輸部会の3部会で構成されており、すべての部会に吹田警察署は参加しています。

それぞれの部会は、教育関係機関、地域の関係機関、運輸関係機関で組織されており、交通事故のない吹田を目指し、各機関で出された課題や問題の解決に向けて議論しています



①春と秋の全国交通安全運動（啓発活動）

春は4月6日～15日、秋は9月21日～30日までの10日間を運動期間として、下記の啓発行事を実施

行事名	実施日	行事内容等	実施場所
交通安全運動 街頭啓発キャンペーン	4月6日 9月21日	全国交通安全運動の街頭啓発キャンペーンとして、通行人に対して啓発品を配布し、交通安全意識の高揚を図る	JR吹田駅前さんくす夢広場 阪急南千里駅前広場
自転車・二輪車に対する安全指導	4月8日 9月28日	自転車利用者に対して交通ルールの遵守、マナーの向上を呼びかける啓発活動を実施	広芝町交差点
めいわく駐車追放 合同パトロール	4月12日 9月27日	地元企業協議会と連携して、迷惑駐車追放大会を開催し、合同パトロールを実施	江坂公園周辺
シートベルト・チャイルドシート 着用街頭指導	4月15日 9月26日	交差点を走行中の車両を止めて啓発品を配布し、運転者や同乗者に対し着用の徹底を指導	西の庄交差点 吹田警察署前
高校生に対する 自転車安全教育	4月13日 4月15日	高校生に対する自転車安全教育	山田高校 北千里高校
自転車安全運転免許証 交付講習会	4月10日 9月25日	自転車を利用する一般市民を対象に、自転車の交通事故防止を目的とした参加体験型の講習会を実施	吹田自動車 教習所
自転車マナーアップ 街頭啓発	4月14日 9月29日	自転車利用者に対する街頭安全指導、自転車の無料点検	片山ポケット パーク
交通安全功労者等 表彰式	9月21日	交通安全と事故防止に対する功績が顕著であった者を表彰することにより、地域や事業所単位で交通安全意識の高揚を図る	メイシアター 小ホール
高齢者交通安全大会	9月28日	地域の高齢者交通安全リーダーを対象に、高齢者の交通事故防止を目的とした講習会を実施	メイシアター 中ホール
高齢者自転車街頭啓発 キャンペーン	9月30日	高齢の自転車利用者に対して交通ルールの遵守、マナーの向上を呼び掛ける啓発活動を実施	泉町交差点



交通安全運動街頭啓発キャンペーン



自転車安全運転免許証交付講習会

②広報啓発活動の推進

各種の交通安全運動等を幅広く周知するために、市報、ホームページ、ポスター、チラシ、横断幕、のぼり等を活用して、広報啓発活動を実施

●ポスター



●横断幕・のぼり



③児童・園児に対する交通安全教育

交通安全の基礎知識等についての講話及び歩行者・自転車の正しい乗り方を実践指導

前期 4月～ 7月

後期 10月～11月

実施対象	校・園数	人数	概要	備考
小学校 (3・4年生)	35校 (36校中)	3,330人	安全な自転車利用	1校は日程が合わず未実施
幼稚園	21園 (33園中)	3,005人	園児には安全な歩き方、同時に保護者にも安全教育実施)	
保育園	15園 (23園中)	1,104人	園児への安全な歩き方の講話のみ	

※学校、幼稚園等の数は市立私立を含む



④交通安全指導の実施

交通安全に関する講話及びビデオの視聴により実施

実施対象	校数・回数	人数	備考
中学校	14校 (21校中)	6,765人	
高等学校	4校 (9校中)	2,136人	
大学生	5校 (6校中)	4,220人	実施回数は7回
高齢者	17回	3,907人	
事業所	44回	2,059人	

⑤その他の取組み

- ア. 安全運転管理者研修会（3月23日、9月2日）メイシアター
一定台数の自動車を所有する市内の事業所から選任された安全運転管理者に対し研修会を実施。
- イ. 安全運転講習会（3月24日～31日、9月7日～15日）メイシアターほか
一般市民を対象に、ドライバーの安全意識の向上と事故防止を目的とした講習会を実施。
- ウ. 第51回交通安全こども自転車大阪府大会（6月25日）守口市民体育館
小学生を対象に、競技を通じ、自転車の交通安全の知識と技能を身につけさせ、交通事故防止を図る。
- エ. 無事故・無違反チャレンジコンテスト表彰式（9月2日）メイシアター
事業所単位で無事故・無違反に挑戦し、その成績が優秀な事業所を表彰することで、交通安全意識の高揚を図る。
- オ. 北摂地区交通問題広域懇談会（平成29年2月16日）吹田市役所
北摂地区における各市町が合同で行う交通問題に関する会議

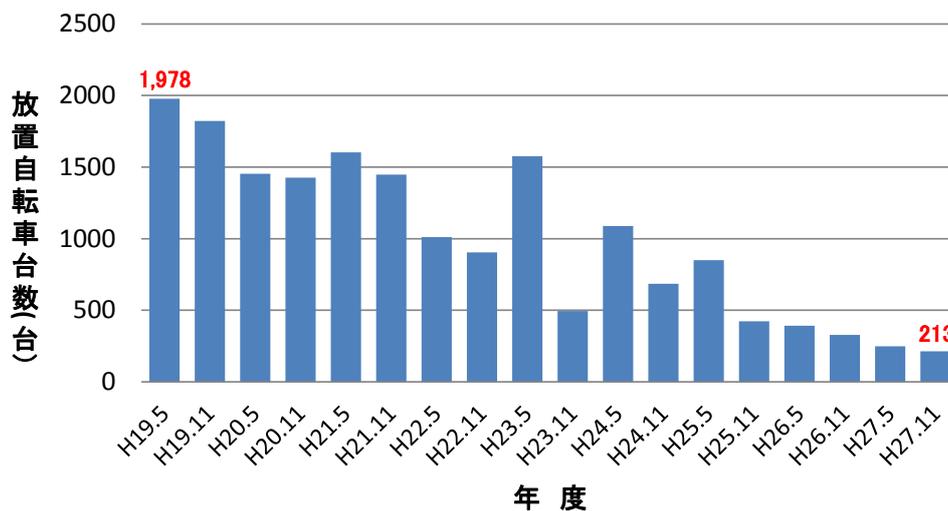
(3)「とめる」

放置自転車対策の概要

◆放置自転車の状況

○放置禁止区域内における放置自転車台数は、年々減少しており、平成19年度の約1割にまで減少しています。

＜放置禁止区域内における放置自転車台数の推移（午後）＞



＜放置自転車台数の調査概要＞

- ・同一日に2回調査し、午前は9時から、午後は2時から実施。
- ・市内外の駅付近 15箇所を実施。

北千里、阪急山田、南千里、桃山台、宇野辺（茨木市）、千里山、関大前、豊津、阪急吹田、阪急相川（大阪市）、江坂、JR吹田、岸辺、正雀、万博記念公園



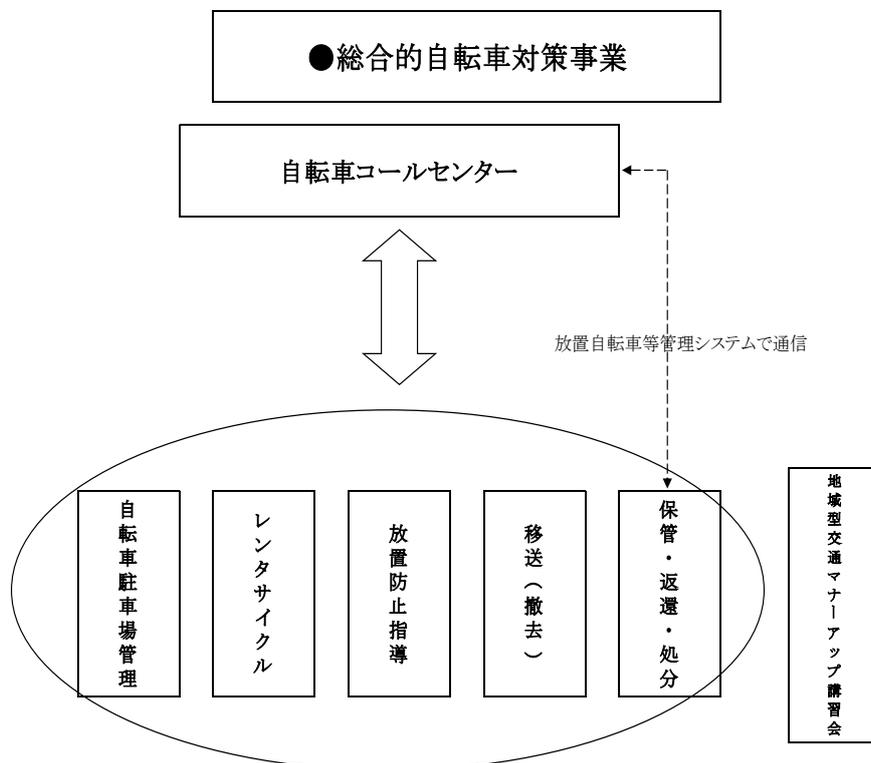
放置自転車のようす(正雀駅付近)

◆総合的自転車対策事業

- 本市では、総合的自転車対策事業として、自転車駐車場管理、レンタサイクル、放置防止指導、撤去、保管・返還・処分を一元化して同じ業者に委託する方式を平成20年度から実施しており、放置自転車の削減を図っています。
- 市営自転車駐車場が11駅で30ヶ所、約2万台分整備されており、利用率は約8割と高い状況です。加えて、(財)自転車駐車場整備センターにより3駅で10ヶ所、約7千台分が整備されています。
- 放置防止対策として、放置防止指導員の配置や放置自転車の撤去を行っています。撤去台数は年々減少しており、ピークの平成12年の半分以下となっています。
- 撤去自転車の返還率は約7割と高い状況です。

総合的自転車対策事業

- 各事業を統合し、総合的自転車対策事業として一元化する。
- 自転車総合窓口(自転車コールセンター)を設置する。
- 放置自転車等管理システムを導入する。
- 自転車利用者のマナー向上のため地域型交通マナーアップ講習会を実施する。



※上記各事業は、別々の業者に委託して行われているのが一般的であり、統合・一元化して同じ業者に委託する仕組みは先進的な取り組み

<自転車コールセンター>

- 移送自転車等や保管所、自転車駐車場に関する市民からの問合せに対応する専用の窓口を設けることで、市民サービスの向上を図っています。
- 自転車コールセンターに設置する「放置自転車等管理システム」の活用により、4保管所全てで保管する自転車の状況が把握できるため、保管自転車等に関する保管期間などの問合せに、より具体的な説明を行うことができます。

<自転車駐車場>

○自転車の交通に係る事故の防止と交通の円滑化並びに駅周辺等の良好な環境の確保及びその機能の低下の防止を図り、あわせて自転車等の利用者の利便の増進に資することを目的とし、市内に30か所の自転車駐車場を設置しています。

※具体的な自転車駐車場設置場所については下表を参照。



階層式自転車駐車場
(JR吹田駅)



電磁ラック式自転車駐車場
(JR豊津駅)



機械式地下自転車駐車場
(阪急南千里駅)

吹田市営自転車駐車場

2015年8月1日現在

鉄道名	駅名	名称	収容台数合計	収容台数内訳									供用開始 (有料) 年月日		
				自転車			原付			自動二輪					
				合計	定期	一時	合計	定期	一時	合計	定期	一時			
阪急電鉄	北千里	阪急北千里駅前東第1自転車駐車場	173				173	173							H11.01.01
		阪急北千里駅前東第2自転車駐車場	94	94	94										H11.01.01
		阪急北千里駅前南自転車駐車場	700	700	617	83									H11.01.01
		阪急北千里駅前北自転車駐車場	817	651	612	39	166	126	40						H11.01.01
	山田	阪急山田駅前東自転車駐車場	1,234	1,043	815	228	191	166	25						H15.05.01
		阪急山田駅前南自転車駐車場	527	463	393	70	64	64							H15.05.01
		阪急山田駅前西自転車駐車場	480	405	324	81	75	61	14						H15.05.01
	南千里	阪急南千里駅前西第1自転車駐車場	1,070	1,070	866	204									H14.04.01
		阪急南千里駅前西第2自転車駐車場	98				98	68	30						H14.04.01
	千里山	阪急千里山駅前東自転車駐車場	1,300	1,040	813	227	240	196	44	20	16	4			H25.07.19
	関大前	阪急関大前駅中央自転車駐車場	145				109	109		36	30	6			H12.04.01
		阪急関大前駅東自転車駐車場	280	280	242	38									H12.04.01
		阪急関大前駅西自転車駐車場	247	96	48	48	151		151						H12.04.01
	豊津	阪急豊津駅前北自転車駐車場	475	475	359	116									H16.06.01
		阪急豊津駅前南第1自転車駐車場	41	26	21	5	15	10	5						H16.06.01
		阪急豊津駅前南第2自転車駐車場	442	432	338	94	5	5		5	5				H16.07.01
	吹田	阪急吹田駅前東第1自転車駐車場	183	183	183										H04.04.01
		阪急吹田駅前東第2自転車駐車場	179	179	155	24									H04.04.01
		阪急吹田駅前西第1自転車駐車場	551	484	336	148	67	60	7						H04.04.01
		阪急吹田駅前西第2自転車駐車場	65	65	65										H04.04.01
		阪急吹田駅南自転車駐車場	99	99	86	13									H04.04.01
相川	南高浜自転車駐車場	192	174	134	40	18	8	10						H04.02.01	
JR西日本	吹田	JR吹田駅前中央自転車駐車場	563	531	406	125	32	19	13						S55.04.21
		JR吹田駅前西自転車駐車場	461	343	343		118	118							S55.04.21
		JR吹田駅前北自転車駐車場	2,200	2,010	1,684	326	190	157	33						H08.04.01
北大阪急行	桃山台	北大阪急行桃山台駅前東第1自転車駐車場	1,947	1,545	1,445	100	402	362	40						H08.03.01
		北大阪急行桃山台駅前東第2自転車駐車場	188	126	126		48	48		14	14				H08.03.01
大阪市営地下鉄	江坂	江坂公園自転車駐車場	1,367	1,035	615	420	180	120	60	152	126	26			H08.02.01
		江坂駅前中央自転車駐車場	2,951	2,531	1,720	811	420	272	148						H09.02.01
		江坂駅前西自転車駐車場	300	300	300										H09.05.01
11駅		合計(30か所)	19,369	16,380	13,140	3,240	2,762	2,142	620	227	191	36			

<放置防止指導>

○自転車等放置禁止区域内に自転車を放置しようとする者に対して、指導、啓発、自転車駐車場への誘導並びに放置自転車の整理を行うことにより、歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることを目的としています。

○具体的な活動内容は以下の通り

- ・自転車等を放置しようとする者に対して、当該区域が放置禁止区域であり、自転車等を放置してはならないこと、自転車駐車場を利用することを説明します。
- ・あわせて、放置された自転車等は撤去の対象となり、返還には移送保管料が必要であることを説明します。
- ・既に放置されている自転車等は、整理し、警告札を取り付けます。
- ・放置禁止区域外及び隣接区域においては、通行の支障とならないよう放置自転車等を整理します。



啓発指導員(江坂駅)

平成27年度実績

	江坂駅	吹田駅	千里山駅	関大前駅	豊津駅
配置日数	345日	345日	345日	256日	134日
	岸辺駅	北千里駅	正雀駅	桃山台駅	
配置日数	146日	268日	146日	268日	

<移送(撤去)>

○駅周辺道路等における自転車等の放置による都市環境悪化を防止し、自転車等の駐車秩序を確立することにより、災害時の防災活動の確保並びに歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることを目的としています。

○放置禁止区域内にある自転車及び原動機付自転車で、利用者又は所有者が自転車等を離れてすぐに移動させることができない状態のものを放置自転車等として撤去の対象としています。

○また、放置禁止区域外にある自転車及び原動機付自転車の撤去も可能となったことにより、放置自転車の撤去の拡大を図っていきます。

○撤去台数は、市内で年間に 12,656 台 (H27) となっており、減少傾向にあります。



放置自転車の撤去(江坂駅)



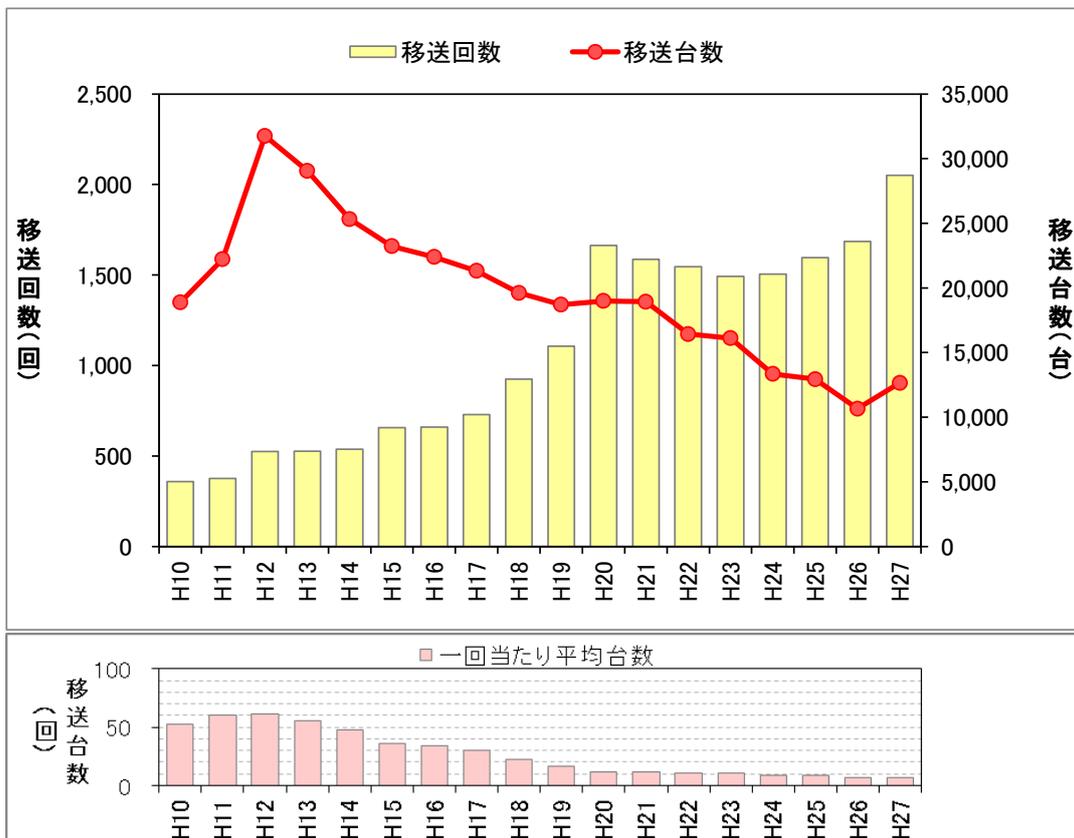
保管所(吹田保管所)

<保管・返還・処分>

○自転車等放置禁止区域等から保管所に移送されてきた自転車等については、保管し、引き取りに来た所有者から移送保管料(自転車3,000円、原付4,500円)の徴収を行い、自転車等を返還しています。また、引取りのなかった自転車等については処分(売却)を行っています。

平成27年度実績

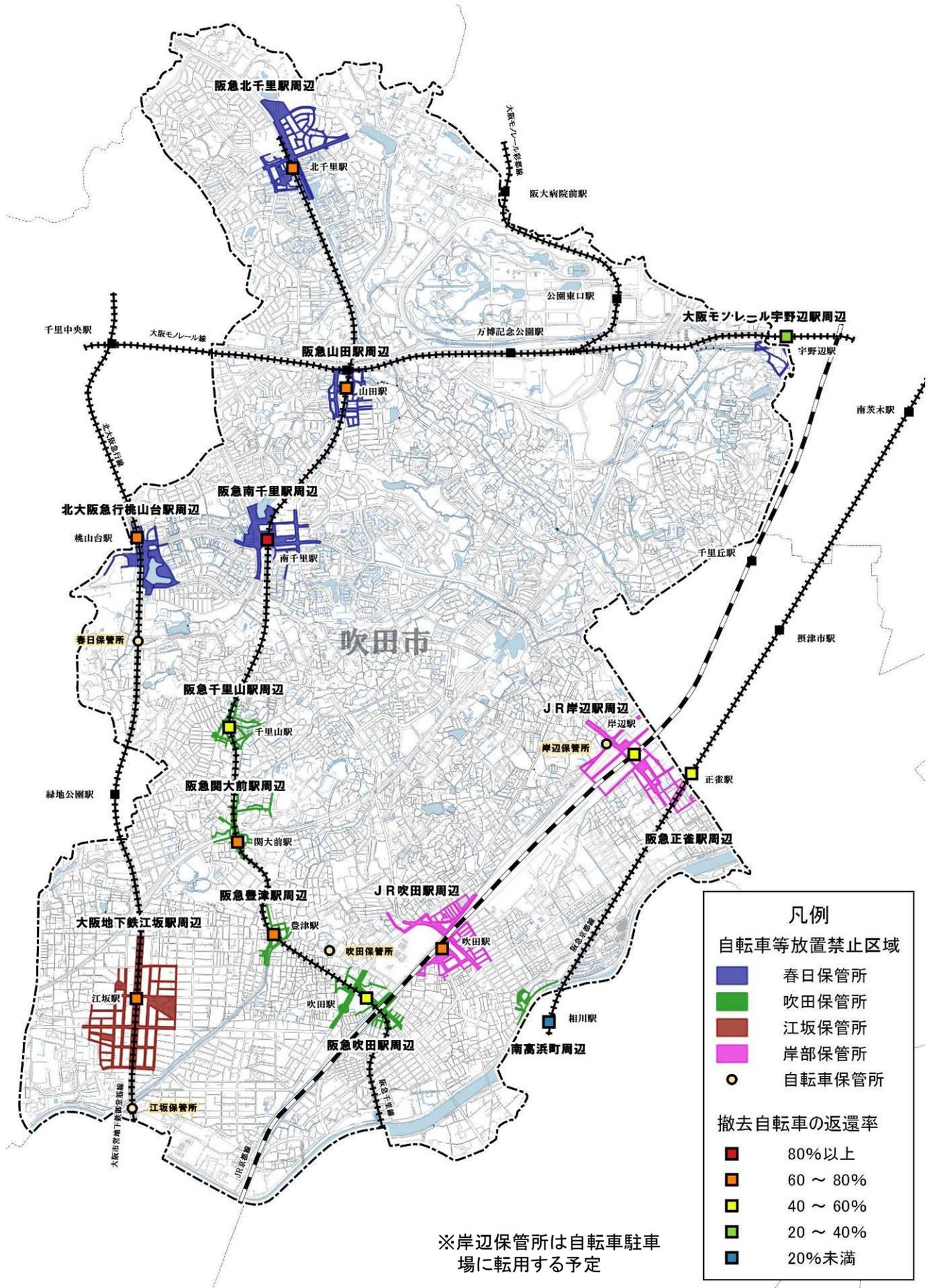
撤去回数	撤去台数	返還台数	返還率	処分台数
2,050回	12,656台	9,061台	71.59%	3,595台



平成27年度駅別集計表

駅名	移送回数	移送台数			返還台数					返還率
		自転車	原付	合計	自転車	規則4条	原付	規則4条	合計	
北千里	137	362	25	387	209	16	24	0	249	64.34%
山田	132	229	36	265	120	12	32	1	165	62.26%
南千里	151	903	18	921	736	43	18	0	797	86.54%
桃山台	135	180	18	198	125	3	18	0	146	73.74%
宇野辺	84	23	1	24	7	0	0	0	7	29.17%
春日保管所	639	1,697	98	1,795	1,197	74	92	1	1,364	75.99%
千里山	133	144	3	147	62	6	2	1	71	48.30%
関大前	138	696	55	751	416	22	53	1	492	65.51%
豊津	134	494	4	498	310	13	4	0	327	65.66%
阪急吹田	135	270	3	273	144	5	3	0	152	55.68%
南高浜町	13	7	0	7	1	0	0	0	1	14.29%
吹田保管所	553	1,611	65	1,676	933	46	62	2	1,043	62.23%
江坂	364	4,161	31	4,192	2,848	121	28	0	2,997	71.49%
江坂保管所	364	4,161	31	4,192	2,848	121	28	0	2,997	71.49%
JR吹田	226	4,164	39	4,203	3,012	144	38	0	3,194	75.99%
岸辺	134	582	27	609	302	31	25	2	360	59.11%
正雀	134	174	7	181	87	11	5	0	103	56.91%
岸部保管所	494	4,920	73	4,993	3,401	186	68	2	3,657	73.24%
合計	2,050	12,389	267	12,656	8,379	427	250	5	9,061	71.59%

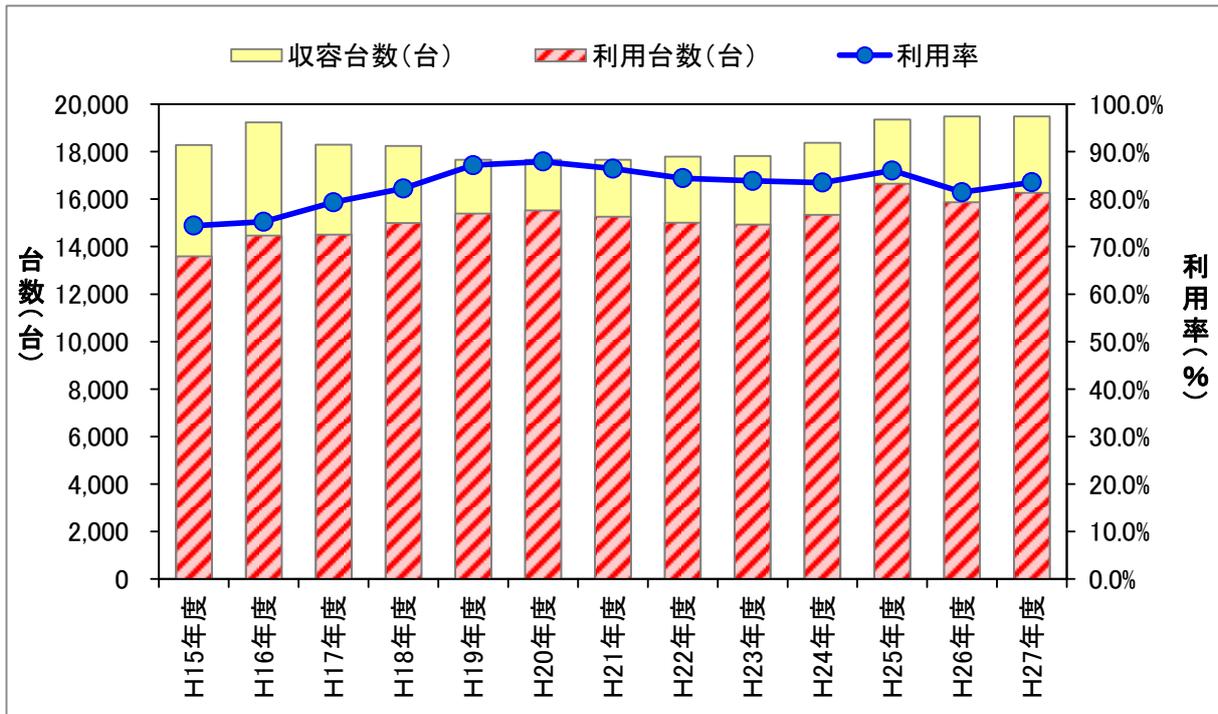
放置禁止区域指定と保管所



自転車駐車場利用状況

- 市営自転車駐車場の利用率は、近年は概ね横ばいとなっており、平成26年度で利用率81.5%となっています。
- 最も利用率が高い駅は江坂駅であり、平成20年度以降は毎年100%を超えています。次いで、利用率が90%を超えて高いのが、JR吹田駅、阪急吹田駅です。逆に利用率が低いのは、関大前駅（29.0%）、桃山台駅（57.1%）となっています。
- 利用率が100%を超えている江坂駅、JR吹田駅では、自転車駐車場が不足している状況です。

自転車駐車場の利用状況



自転車駐車場利用状況の推移（平成15年度～27年度）

駅名	年度	平成												
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総合計	収容台数(台)	18,275	19,233	18,290	18,235	17,658	17,658	17,658	17,787	17,818	18,375	19,356	19,479	19,479
	利用台数(台)	13,602	14,470	14,512	14,998	15,390	15,526	15,260	15,013	14,938	15,341	16,652	15,868	16,273
	利用率	74.4%	75.2%	79.3%	82.2%	87.2%	87.9%	86.4%	84.4%	83.8%	83.5%	86.0%	81.5%	83.5%
JR吹田駅	収容台数(台)	3,216	3,216	3,216	3,226	3,226	3,226	3,226	3,215	3,224	3,224	3,224	3,224	3,224
	利用台数(台)	3,038	3,120	3,291	3,347	3,348	3,344	3,322	3,243	3,205	3,195	3,084	3,011	3,271
	利用率	94.5%	97.0%	102.3%	103.8%	103.8%	103.7%	103.0%	100.9%	99.4%	99.1%	95.7%	93.4%	101.5%
JR岸辺駅	収容台数(台)	970	970											
	利用台数(台)	454	464											
	利用率	46.8%	47.8%											
桃山台駅	収容台数(台)	2,155	2,155	2,155	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129	2,135	2,135	2,135	2,135	2,135
	利用台数(台)	1,305	1,406	1,434	1,465	1,459	1,465	1,330	1,232	1,222	1,211	1,180	1,220	1,216
	利用率	60.6%	65.2%	66.5%	68.8%	68.5%	68.8%	62.5%	57.9%	57.2%	56.7%	55.3%	57.1%	57.0%
江坂駅	収容台数(台)	4,894	4,894	4,940	4,940	4,605	4,605	4,605	4,605	4,605	4,605	4,605	4,718	4,718
	利用台数(台)	3,649	3,648	3,926	4,297	4,583	4,699	4,714	4,775	4,891	5,052	6,041	5,008	4,900
	利用率	74.6%	74.5%	79.5%	87.0%	99.5%	102.0%	102.4%	103.7%	106.2%	109.7%	131.2%	106.1%	103.9%
北千里駅	収容台数(台)	1,800	1,800	1,781	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784
	利用台数(台)	1,087	1,136	1,172	1,329	1,340	1,318	1,305	1,331	1,309	1,323	1,312	1,354	1,378
	利用率	60.4%	63.1%	65.8%	74.5%	75.1%	73.9%	73.2%	74.6%	73.4%	74.2%	73.5%	75.9%	77.2%
山田駅	収容台数(台)	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,241	2,251	2,251
	利用台数(台)	1,862	1,798	1,714	1,683	1,695	1,686	1,651	1,602	1,593	1,532	1,539	1,575	1,563
	利用率	83.1%	80.2%	76.5%	75.1%	75.6%	75.2%	73.7%	71.5%	71.1%	68.4%	68.7%	70.0%	69.4%
南千里駅	収容台数(台)	756	756	756	756	756	756	756	896	930	1,487	1,168	1,168	1,168
	利用台数(台)	920	843	835	827	890	895	833	760	765	1,056	734	820	900
	利用率	121.7%	111.5%	110.4%	109.4%	117.7%	118.4%	110.2%	84.8%	82.3%	71.0%	62.8%	70.2%	77.1%
千里山駅	収容台数(台)											1,300	1,300	1,300
	利用台数(台)											817	993	1,079
	利用率											62.8%	76.4%	83.0%
関大前駅	収容台数(台)	885	885	885	915	672	672	672	672	672	672	672	672	672
	利用台数(台)	178	223	222	195	178	257	230	281	189	241	187	195	196
	利用率	20.1%	25.2%	25.1%	21.3%	26.5%	38.2%	34.2%	41.8%	28.1%	35.9%	27.8%	29.0%	29.2%
豊津駅	収容台数(台)			958	958	958	958	958	958	958	958	958	958	958
	利用台数(台)			707	750	689	685	669	666	636	608	603	596	594
	利用率			73.8%	78.3%	71.9%	71.5%	69.8%	69.5%	66.4%	63.5%	62.9%	62.2%	60.6%
阪急吹田駅	収容台数(台)	1,158	1,158	1,158	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077
	利用台数(台)	947	959	978	998	1,045	1,037	1,050	1,006	997	983	1,005	981	1,045
	利用率	81.8%	82.8%	84.5%	92.7%	97.0%	96.3%	97.5%	93.4%	92.6%	91.3%	93.3%	91.1%	97.0%
相川駅	収容台数(台)	200	200	200	209	210	210	210	210	192	192	192	192	192
	利用台数(台)	162	166	190	168	167	156	159	147	159	145	157	117	143
	利用率	81.0%	83.0%	95.0%	80.4%	79.5%	74.3%	75.7%	70.0%	82.8%	75.5%	81.8%	60.9%	74.5%

(4)「つかう」

レンタサイクル

- 自転車を利用しやすい環境を整備することにより、自転車の利用促進を図っており、現在、レンタサイクル事業を実施しています。
- 自転車駐車で自転車を貸し出すことにより、通勤・通学時に自転車駐車を確保しながら自転車を利用する形態の定着を図ることで、市民の利便性にも寄与しながら、駅周辺における自転車等の放置を抑制し、駅周辺の良好な環境の確保及びその機能低下を防止することを目的としています。
- 7駅125台で実施しており、利用できる駅・台数の増加に伴い利用者も増加してきましたが、利用台数にまだ余裕があるにもかかわらず、近年は利用者が概ね横ばいとなっています。

<レンタサイクル実施場所別利用者数>

年度	江坂公園 自転車駐車場			阪急山田駅前 自転車駐車場			阪急豊津駅前北 自転車駐車場			阪急北千里駅前 自転車駐車場		
	H16.1.4～			H16.1.4～			H17.6.1～			H18.6.1～		
	30台			30台			10台			20台		
	1ヵ月	3ヵ月	合計	1ヵ月	3ヵ月	合計	1ヵ月	3ヵ月	合計	1ヵ月	3ヵ月	合計
H15	11	5	16	7	4	11						
H16	62	10	72	48	34	82						
H17	90	17	107	63	62	125	17	19	36			
H18	119	33	152	36	77	113	24	11	35	14	2	16
H19	134	36	170	41	68	109	19	16	35	19	3	22
H20	150	44	194	91	61	152	30	14	44	23	5	28
H21	151	35	186	64	80	144	30	18	48	9	9	18
H22	132	34	166	41	66	107	28	25	53	18	20	38
H23	159	48	207	44	69	113	50	21	71	34	25	59
H24	113	86	199	57	56	113	43	25	68	34	21	55
H25	123	76	199	39	51	90	49	21	70	68	9	77
H26	173	76	249	43	46	89	51	24	75	56	9	65
H27	119	89	208	37	60	97	38	22	60	44	14	58

年度	阪急関大前駅 自転車駐車場			阪急吹田駅前 自転車駐車場			北大阪急行桃山台駅前 自転車駐車場			全実施場所合計						
	H19.7.1～			H20.7.1～			H21.6.1～			1ヵ月	3ヵ月	合計	還付			差引 計
	5台			10台			20台						1ヵ月	2ヵ月	合計	
	1ヵ月	3ヵ月	合計	1ヵ月	3ヵ月	合計	1ヵ月	3ヵ月	合計							
H15										18	9	27				27
H16										110	44	154	1	1	2	152
H17										170	98	268		1	1	267
H18										193	123	316	1		1	315
H19	2		2							215	123	338	1	2	3	335
H20	11	3	14	16	6	22				321	133	454	1	2	3	451
H21	12	4	16	38	9	47	10	1	11	314	156	470	2	1	3	467
H22	23	5	28	43	13	56	8	12	20	293	175	468	3	1	4	464
H23	19	5	24	44	16	60	22	11	33	372	195	567	2	1	3	564
H24	11	5	16	31	21	52	14	9	23	303	223	526	3	3	6	520
H25	4	6	10	27	30	57	14	11	25	324	204	528	1	4	5	523
H26	6	7	13	12	34	46	4	12	16	345	208	553		2	2	551
H27	9	6	15	36	17	53	10	11	21	293	219	512	1	1	2	510

利用料（定期）：1ヶ月2,000円、3ヶ月5,200円

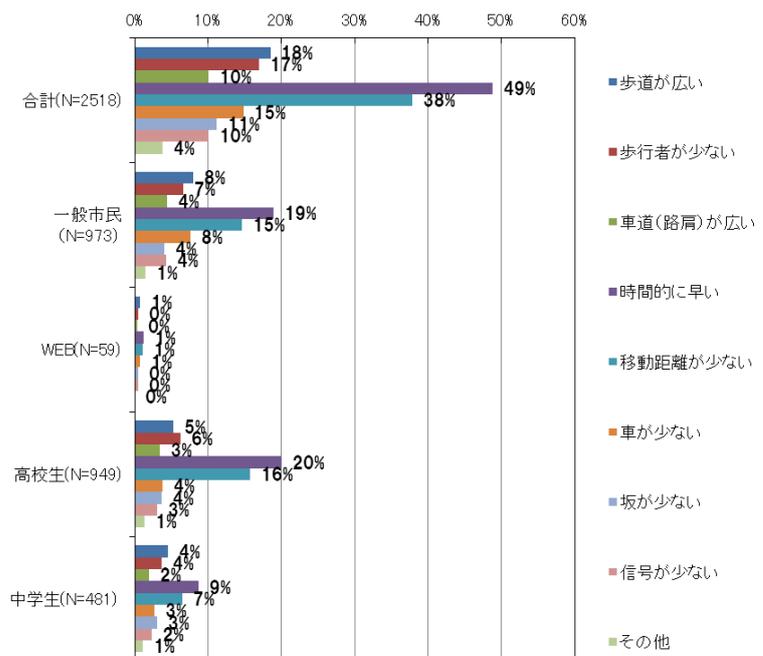
（※豊津駅のみ 1ヶ月1,500円、3ヶ月3,900円）

4 自転車に関する市民の意識

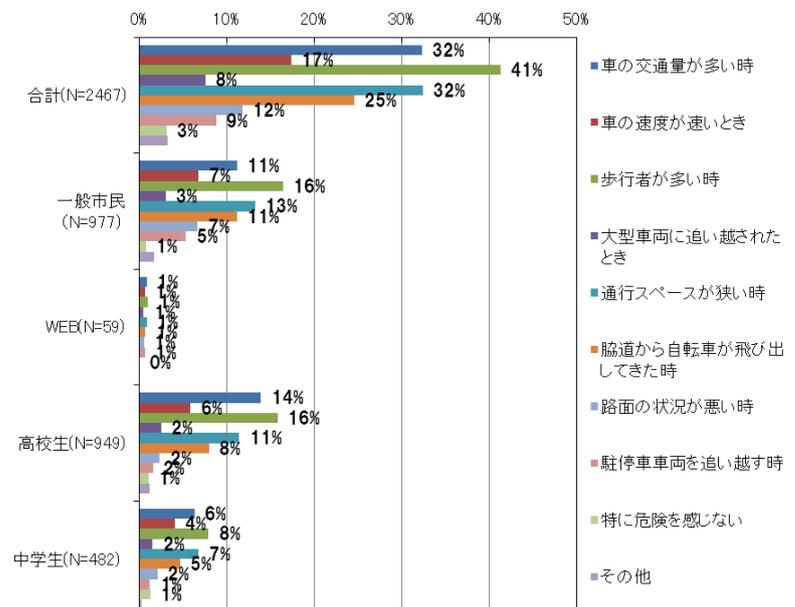
(1) 「はしる」に関すること

- 自転車で走るルートを決める主な判断基準は、「最短ルート」と「短時間」。
- 危険を感じるのは、主に「歩行者・車が多い時」や「狭いスペースを走る時」。
- 移動距離が10km以下なら車から自転車に乗り換えてもよいと思う人が90%以上。
- 最も市に望んでいるのは、自転車が走りやすい空間を整備すること。
- 吹田市の自転車の通行空間の現状には、「満足・やや満足」と「不満・やや不満」がいずれも24%と同程度。片山・岸辺地域、豊津・江坂・南吹田地域は、他地域よりも満足度が低い。

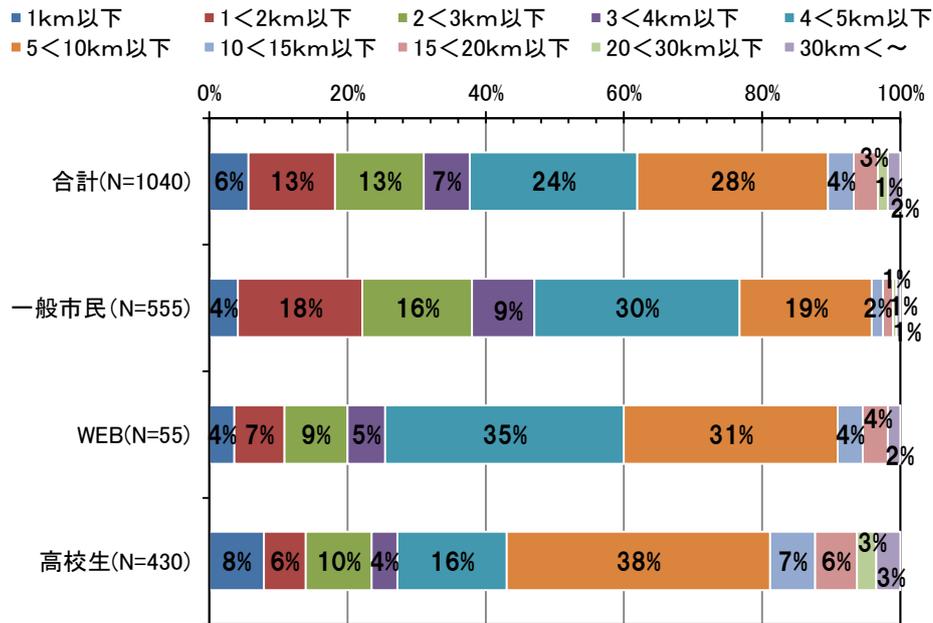
Q 利用目的で選択した移動を自転車で行う場合、通行ルートはどのような点を重視して選んでいますか。(重要だと思うもの上位2つまで○) (複数回答) [N=2,519]



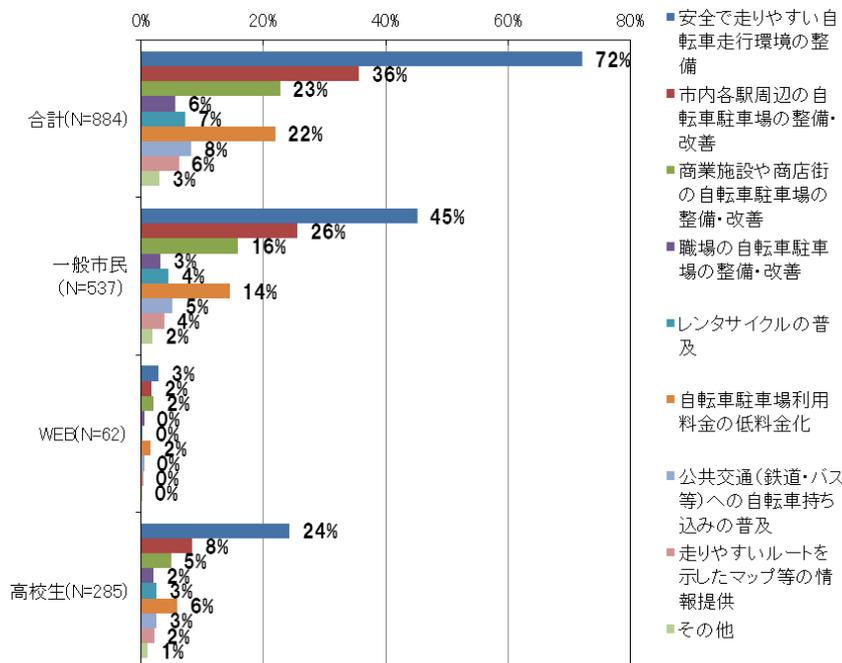
Q 利用目的で選択した移動を自転車で行う場合、通行する際に危険を感じるのはどのような時ですか。(主なもの2つまで○) (複数回答) [N=2,524]



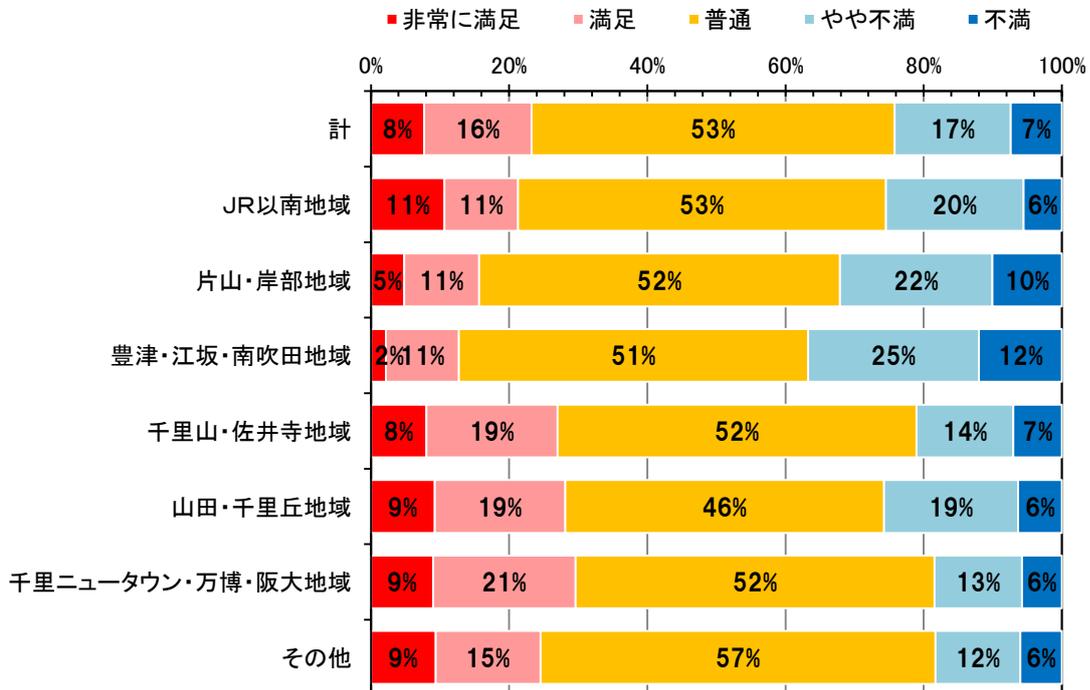
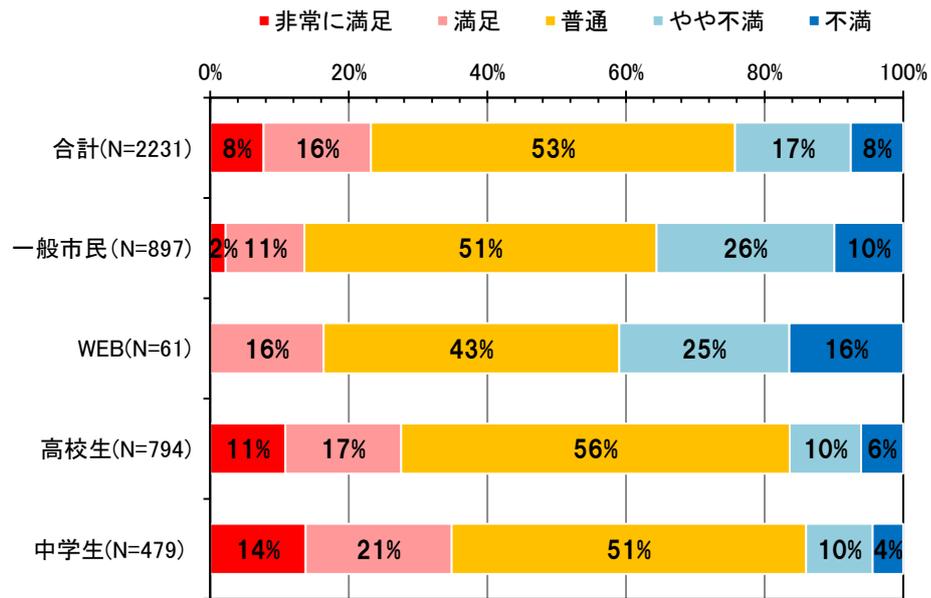
Q 将来、日常的に自転車利用をする場合、片道どれくらいの距離と時間までなら自転車で移動しても良いとお考えか教えてください。[N=1,040]



Q あなたが車から自転車利用へ転換するために、期待する対策を教えてください。(主なもの2つまで○) (複数回答) [N=858]



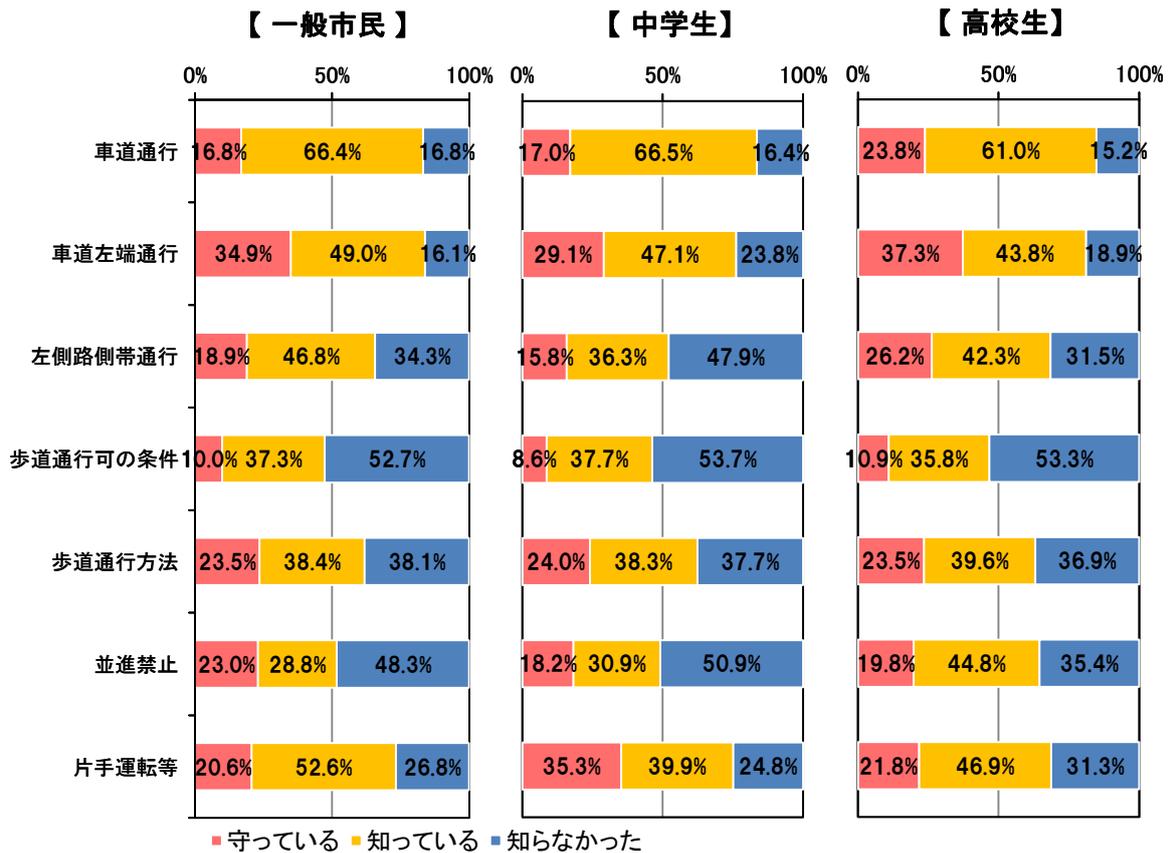
<自転車通行時の安全性の満足度>



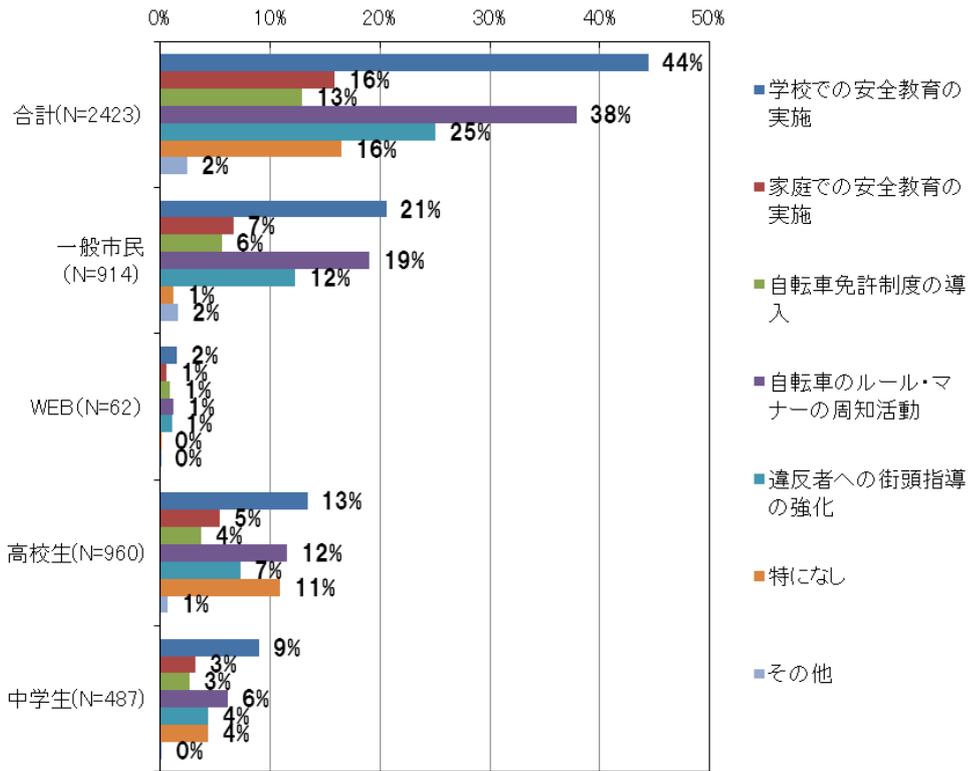
(2) 「まもる」に関すること

- 自転車は車道通行が原則であり、車道では左側通行であることの認知度は高いですが、歩道で自転車が通行できる条件における認知度は低くなっています。
- 交通ルール・マナー向上に必要だと思うのは、「学校での教育」と「周知活動」
- 吹田市の自転車利用者のマナーの現状には、どちらかといえば不満。片山・岸辺地域、豊津・江坂・南吹田地域は、他地域よりも満足度が低くなっています。

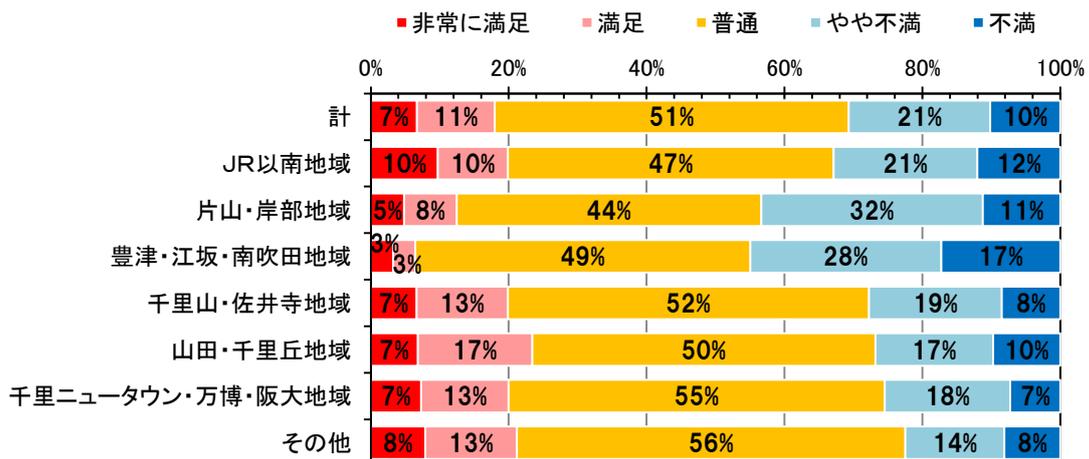
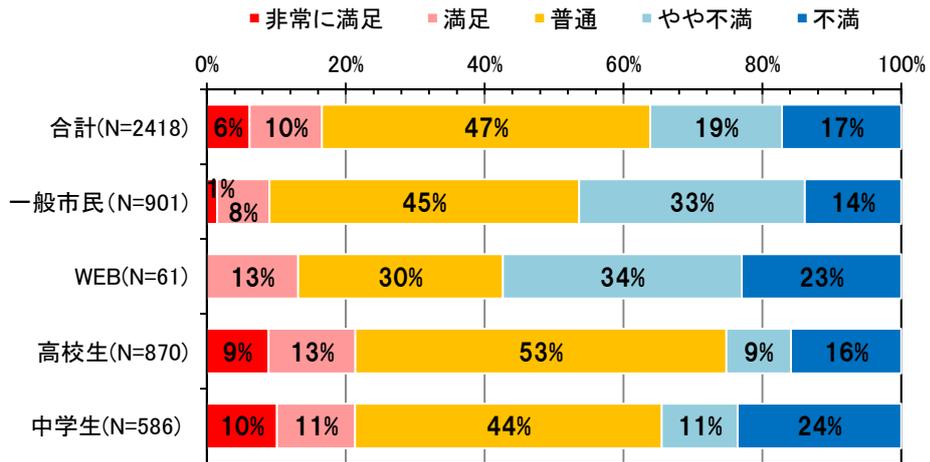
Q 自転車の通行ルールについて、既に知っているもの・守っているものを教えてください。(知っているものすべてに○、知っており守っているものすべてに◎) (複数回答) [N=2,627]



Q 自転車の利用ルール・マナー意識向上のため、重要だと思う具体的な施策を教えてください。(複数回答) [N=2,423]



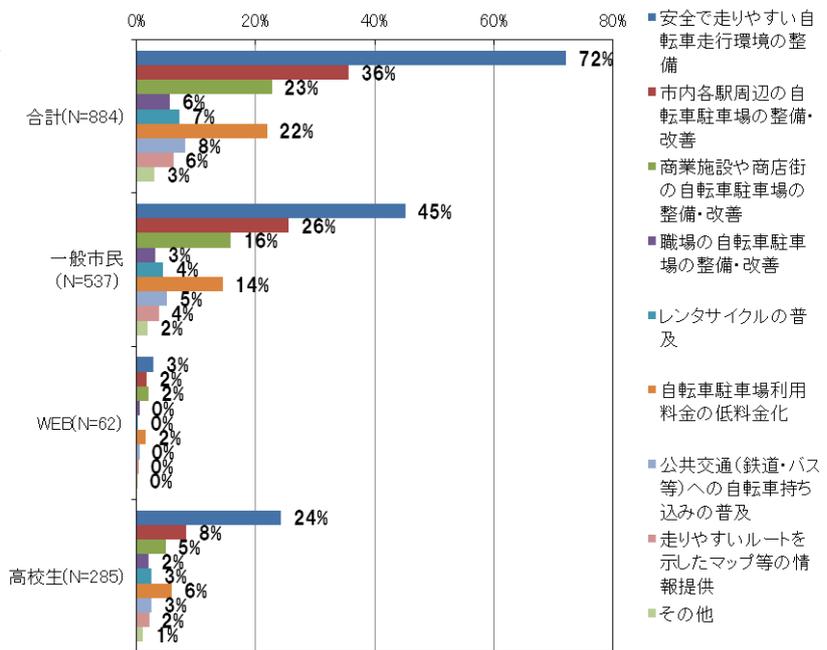
<自転車利用者のマナーの満足度>



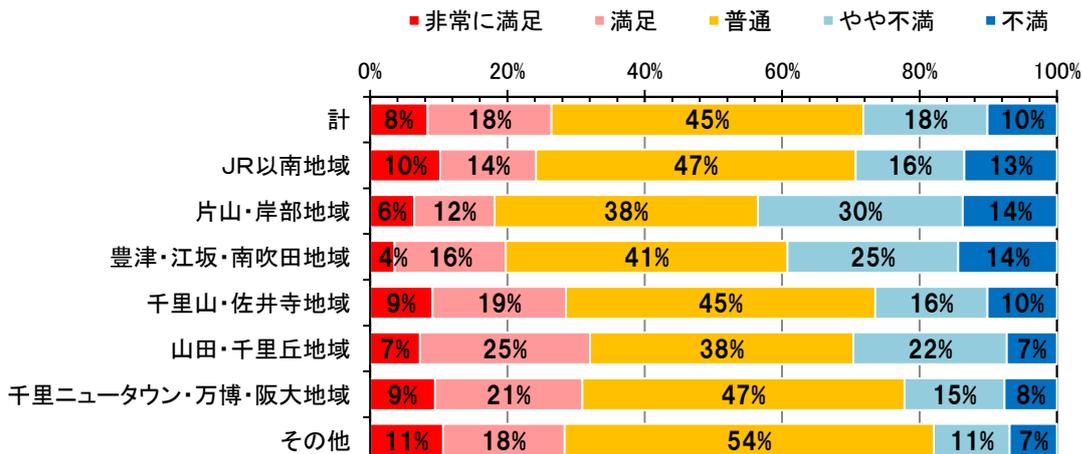
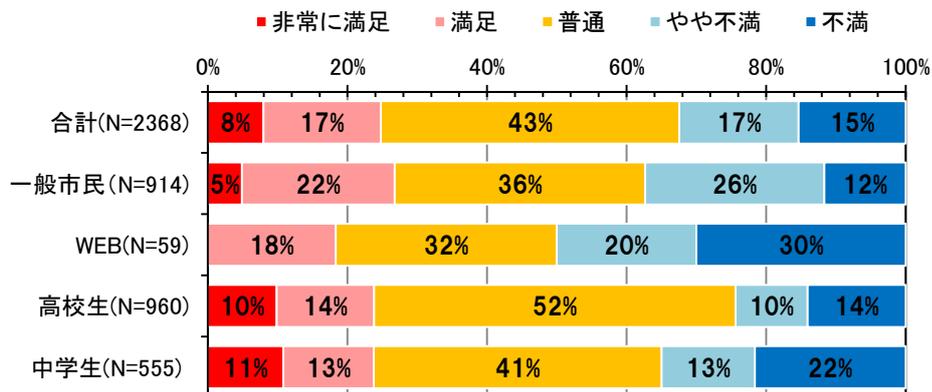
(3)「とめる」に関すること

○車から自転車に乗り換えるには、自転車駐車場の整備・改善を望む意見が多くなっています。
 ○子ども乗せ自転車や電動アシスト自転車を2段ラックの上段にはとめにくい、タイヤ幅や車体が大きいため駐輪できない等、特殊な自転車への対応の問題や、定期利用や一部の駅周辺では一時利用の空きがない等、自転車駐車場の不足に対する自由意見が多数ありました。
 ○吹田市の自転車の駐車環境の現状には、どちらかといえば不満。片山・岸部地域、豊津・江坂・南吹田地域は、他地域よりも満足度が低くなっています。

Q あなたが車から自転車利用へ転換するために、期待する対策を教えてください。(主なものを2つまで○)(複数回答) [N=858] (再掲)



<自転車の駐車環境の満足度>



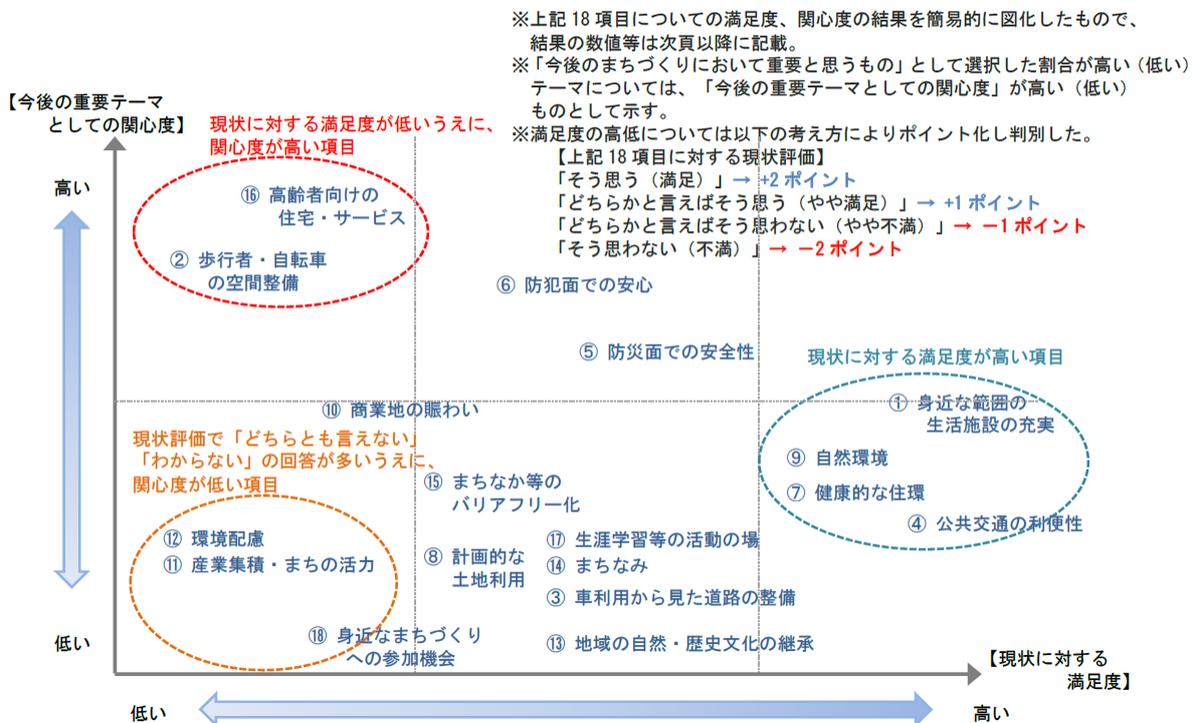
(参考)

都市計画マスタープラン策定にあたり、平成24年10月にアンケート調査が実施されました。調査は18歳以上の市民3,000名に対し郵送で実施し、1,402通(46.7%)の回答を得ました。

アンケートでは、まちづくりに関する18項目のテーマについて、現状に対する評価と今後重要と思うテーマなどをお聞きしました。

まちづくりの現状評価と今後の重要テーマの回答結果をあわせて見ると、以下のグラフに示すように、「歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている」が、現状に対する満足度が低いうえに、今後の重要テーマとしての関心度が高いことから、今後特に重要なテーマであることが分かります。

番号	テーマ	番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している	10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている	11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている	12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい	13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
5	地震や風水害に対して安全なまちである	14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
6	防犯面で安心できるまちである	15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる	16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている	17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している	18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている



5 現状と課題の整理

【 はしる 】

現状等	国・府の動向	<ul style="list-style-type: none"> ○車道通行を基本とした自転車ネットワーク計画の策定とその整備を進めるように提示(国) ○誰もが分かりやすく安全に利用できる自転車通行環境の形成の考え方等を提示(府)
	市上位計画の内容	○歩行者や自転車が優先される交通環境の整備、自転車が安全で快適に利用できる交通機能の充実
	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○現時点で、自転車の通行空間はほとんど整備されていない。 ○車道の左側に自転車通行の余裕がない道路が多い。
	市民アンケートの結果	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車利用が多く、電動アシスト自転車の利用が多い。 ○一般市民（自転車駐車場利用）の約7割は利用主目的における移動距離が2km以下となっており、利用距離は比較的短い。 ○ルート選定は、「時間的に早い」「移動距離が少ない」が多い。 ○自転車通行時の安全性への満足度が低い。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全・快適で分かりやすい自転車通行環境整備 ○自転車の車道左側通行の徹底 ○歩行者が安心して安全に歩ける歩行環境の確保
----	---

【 まもる 】

現状等	国・府の動向	<ul style="list-style-type: none"> ○通行ルール・マナーの周知・徹底を進めるように提示(国) ○自転車保険加入の義務化、交通安全教育の充実、自転車の安全利用、交通ルール・マナーの向上を条例で制定(府)
	市上位計画の内容	○自転車利用者のマナー向上
	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車関連事故は8年で半分以下に減少、江坂駅周辺や国道479号で多く発生している。 ○さまざまな安全教育・啓発活動を実施している。
	市民アンケートの結果	<ul style="list-style-type: none"> ○車道左側通行を守っていると3～4割の人が回答。 ○ルール・マナーの意識向上に必要な施策は「学校教育」「周知活動」との意見が多い。 ○保険の加入率は約6割と高い。 ○自転車利用者のマナーの満足度が低い。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車のルール・マナーの周知徹底と理解の浸透 ○周知活動と学校教育のさらなる充実 ○保険加入の促進
----	--

【 とめる 】

現状等	国・府の動向	○自転車利用の総合的な取組の一つとして、自転車駐車対策の実施を提示(国)
	市上位計画の内容	○駅周辺における自転車駐車場の整備
	現状	○市営自転車駐車場の整備台数は約 2 万台で、利用率は約 8 割と高い。 一部の自転車駐車場(江坂駅、JR吹田駅)においては利用率が 10 割以上と自転車駐車場が不足 ○総合的な自転車対策事業として、自転車駐車場管理・撤去・保管・返還・啓発等を一括で実施 ○放置自転車は、平成 19 年度の 1978 台から平成 27 年度の 213 台まで、大幅に減少 ○撤去自転車は、平成 12 年をピークに年々減少、15 年間で半以下にまで減少。 ○撤去については、回数及び台数ともに、江坂駅、JR吹田駅が突出している。
	市民アンケートの結果	○自転車駐車環境の満足度が低い。



課題	○放置自転車が、自転車駐車場が不足している、JR吹田駅、江坂駅における、自転車駐車場の量的拡大を視野に入れた放置自転車対策 ○自転車駐車場の使いやすさや多様な車種への対応
----	--

【 つかう 】

現状等	国・府の動向	○自転車利用の総合的な取組の一つとして、健康・環境・観光振興などの地域の課題・ニーズに応じた自転車の利用促進を提示(国)
	市上位計画の内容	○自動車依存生活からの脱却をめざし、自転車利用や歩いて暮らせるまちづくりを推進 ○レンタサイクルの活用推進
	現状	○7箇所の市営自転車駐車場で計 125 台のレンタサイクルを実施している。 ○その他特に自転車の利用促進は進めていない。
	市民アンケートの結果	



課題	○自転車利用の促進 ○レンタサイクル等の充実と利用促進
----	--------------------------------

第4章 自転車利用環境整備の基本方針

1 基本理念

誰にとっても自転車を安心・安全・快適に利用できる環境づくりの推進

- 自転車の通行空間の整備やネットワークルートの構築を行うのと同時に、自転車利用者のルール遵守やマナー向上施策を推進することで、誰にとっても自転車を安心・安全・快適に利用できる環境を目指します。

2 基本方針

【はしる】

- 車道通行を中心とした安心・安全・快適で分かりやすい自転車通行環境を実現
- ニーズ等に対応した自転車の通行環境ネットワークを構築
 - ・市街地が広がる市内全域を対象に、幹線道路を中心とした自転車ネットワークを構築
 - ・利用ニーズ、事故発生状況、道路状況などを考慮し、ネットワーク対象となる道路を抽出
 - ・整備形態、優先順位を検討し、整備を推進

【まもる】

- 「知らない」「知っている」から「守っている」へ行動の変化を促す、理解を深める安全教育の実施
- 自転車のルール・マナーを自転車利用者だけでなく、歩行者・ドライバーにも周知・徹底
- ライフステージに合わせた安全教育の実施

【とめる】

- 多様なニーズに対応した、便利で使いやすい自転車駐車環境の実現
- 地域や商店街等と協働した取組みによる放置自転車の削減

【つかう】

- 住民及び来街者の自転車利用の利便性向上による利用促進（自動車からの転換促進）
- レジャーやスポーツ等を通じた自転車利用の促進や、自転車関連イベントなどの実施による、自転車文化の創造・発展

3 施策の体系

	方向性	具体的な取組内容	
は し る	1	安全で分かりやすい自転車通行空間の整備	・ 自転車通行空間の整備
	2	分かりやすい案内誘導表示の設置	・ 注意喚起等の看板及び路面表示の設置
	3	自転車通行空間ネットワークの形成	・ 自転車ネットワーク路線の選定
			・ 整備形態の選定
	4	自転車ネットワーク路線以外の安全対策の実施	・ 危険度が高い路線、箇所等の安全対策の実施 ・ 非幹線道路における整備
5	整備路線に関する情報提供	・ ホームページ等による周知 ・ 現地利用者及び周辺住民に対する周知・啓発 ・ 整備効果の情報公開	
ま も る	1	市民・事業者・行政の協働によるルール・マナーの周知啓発	・ 市民協働による街頭啓発等の強化
			・ 学校、企業、店舗等と連携した啓発の実施
			・ 自動車ドライバーへの啓発強化 ・ 各種イベント等と連携した啓発の実施
2	ライフステージに応じた自転車安全教育の推進	・ ライフステージに応じた教育内容や実施方法の検討と教育の推進 ・ 自転車安全教育の指導者の育成	
3	自転車保険加入の促進	・ 事故リスクの周知と保険加入の啓発	
と め る	1	自転車駐車が不足している駅における自転車駐車場の整備	・ 行政による自転車駐車場整備の検討
			・ 民間活用による自転車駐車場整備の検討
	2	放置自転車防止啓発等の強化	・ 啓発指導員等による啓発の実施 ・ 放置防止キャンペーンの実施
	3	自転車駐車場の質の向上	・ 自転車駐輪ラックや自転車駐車場内の照明・防犯設備等の改善
・ 多様な自転車に対応した自転車駐車環境の整備 ・ 利用者ニーズに合った付帯機能等の導入			
4	自転車駐車場に関する情報提供の充実	・ ホームページ等における自転車駐車場の位置や料金等の情報提供 ・ 自転車駐車場の満空情報の提供	
つ か う	1	レンタサイクル・コミュニティサイクルの推進	・ 既存のレンタサイクルの充実と利用促進
			・ コミュニティサイクル事業の導入の検討
	2	自転車通勤の促進	・ 企業等と連携した自転車通勤の促進
			・ 自転車通勤促進企業の表彰制度の実施
3	自転車利用に関する総合情報の発信	・ ホームページ等を活用した自転車に関する情報の提供	
4	自転車関連イベントの開催	・ 自転車の理解・興味を促す機会の創出 ・ サイクルイベント等の開催・支援	